

令和 7 年度

個別の主要施策(案)の概要

Overview of individual major measures

2025

(国見町総合計画審議会用抜粋版)

令和7年度 個別の主要施策（案）の概要 目次

所属課	係名	目標	政策	施策	事業名称	頁	創生・過疎
総務課	秘書広報係	5	1	3	広報広聴事業	1	
総務課	財政係	2	3	2	ふるさと国見町応援寄付金事業	2	
企画調整課	総合政策係	5	1	1	総合計画推進事業	3	
企画調整課	総合政策係	6	1	1	まちづくり推進事業	4	
企画調整課	過疎対策係	6	2	2	定住化促進総合対策事業	5	●
企画調整課	総合政策係	3	2	2	国見ホイスコーレ事業	6	●
企画調整課	総合政策係	6	2	1	交流連携推進事業	7	●
企画調整課	総合政策係	6	2	2	地域おこし協力隊活動事業	8	
企画調整課	総合政策係	5	1	1	デジタル変換（DX）推進事業	9	
企画調整課	地域振興係	3	3	4	歴史まちづくり事業	10	
企画調整課	地域振興係	3	3	4	阿津賀志山防塁史跡等総合活用事業	11	
企画調整課	地域振興係	3	3	4	阿津賀志山防塁保存活用計画策定事業	12	
企画調整課	地域振興係	3	3	4	歴史公園管理事業	13	●
企画調整課	地域振興係	3	3	4	文化財センター（あつかし歴史館）管理事業	14	
住民防災課	生活交通係	2	1	3	交通安全対策事業	15	
住民防災課	生活交通係	2	1	3	防犯活動事業	16	
住民防災課	生活交通係	6	1	1	町内会事業	17	
住民防災課	生活交通係	2	2	2	地域公共交通支援事業	18	
住民防災課	生活交通係	2	3	1	環境衛生事業	19	
住民防災課	生活交通係	2	3	1	ごみ減量化対策推進事業	20	
住民防災課	危機管理係	2	1	2	消防団活動事業	21	
住民防災課	危機管理係	2	1	2	消防施設整備事業	22	
住民防災課	危機管理係	2	1	1	災害対策事業	23	

所属課	係名	目標	政策	施策	事業名称	頁	創生・過疎
ほけん課	国保係	1	1	1	高齢者医療事業	24	
ほけん課	保健係	1	1	2	食育推進事業	25	
ほけん課	保健係	1	1	3	予防事業	26	
ほけん課	保健係	1	1	2	健康増進事業	27	
ほけん課	保健係	1	1	3	集団検診事業	28	●
ほけん課	国保係	1	1	1	【国保特会】国保ヘルスアップ事業	29	
福祉課	社会福祉係	1	2	4	社会福祉事業	30	
福祉課	社会福祉係	1	2	3	障がい者福祉事業	31	
福祉課	長寿介護係	1	2	1	老人福祉事業	32	●
福祉課	長寿介護係	1	2	1	敬老事業	33	
福祉課	長寿介護係	1	2	2	高齢者福祉施設（デイサービスセンター）事業	34	
福祉課	長寿介護係	1	2	2	【介護特会】介護保険特別会計（地域支援事業）	35	
福祉課	社会福祉係	6	2	2	町内若者交流事業	36	
福祉課	社会福祉係・子育て応援係	3	1	1	児童福祉事業	37	
福祉課	子育て支援係	3	1	1	児童健全育成事業	38	
福祉課	子育て支援係	3	1	1	母子保健事業	39	●
産業振興課	農林振興係	4	1	2	農業経営基盤強化促進事業	40	
産業振興課	農林振興係	4	1	2	農業振興事業	41	
産業振興課	農林振興係	4	1	1	有害鳥獣対策事業	42	
産業振興課	農林振興係	4	1	3	町産農産物PR事業	43	
産業振興課	農林振興係	4	1	2	くにも農業ビジネス訓練所事業	44	
産業振興課	農林振興係	4	1	1	多面的機能支払交付金事業	45	
産業振興課	農林振興係	4	1	1	中山間地域等直接支払事業	46	
産業振興課	農林振興係	4	1	1	林業振興事業	47	

所属課	係名	目標	政策	施策	事業名称	頁	創生・過疎
産業振興課	商工観光係	4	2	1,2	商工振興事業	48	
産業振興課	商工観光係	4	2	3	観光振興事業	49	
産業振興課	商工観光係	4	2	3	道の駅推進費事業	50	
建設課	管理係	6	2	2	定住化促進総合対策事業	51	●
建設課	建設係	4	1	1	農業施設整備事業	52	
建設課	建設係	2	2	4	林道整備事業	53	
建設課	建設係	2	2	4	道路維持事業（道路維持・除雪）	54	●
建設課	建設係	2	2	4	橋梁維持事業	55	
建設課	建設係	2	2	4	道路改良舗装事業	56	●
建設課	管理係	2	2	1	都市計画事業	57	
建設課	建設係	2	2	1	都市再生整備計画推進事業	58	
建設課	管理係	2	2	3	住宅維持管理事業	59	●
教育総務/施設課	総務係・こども教育係・施設管理係	3	2	1	教育委員会事務事業	60	
教育総務/施設課	総務係・こども教育係	3	2	1	学力向上対策事業	61	
教育総務/施設課	総務係	3	2	3	育英事業	62	
教育総務/施設課	総務係・こども教育係・施設管理係	3	2	3	小学校管理事業	63	
教育総務/施設課	総務係・こども教育係	3	2	3	小学校教育振興事業	64	
教育総務/施設課	総務係・こども教育係・施設管理係	3	2	3	中学校管理事業	65	
教育総務/施設課	総務係・こども教育係	3	2	3	中学校教育振興事業	66	
教育総務/施設課	給食センター	3	2	1	学校給食事業	67	
教育総務/施設課	総務係・こども教育係・施設管理係	3	1	1	藤田保育所運営事業	68	
教育総務/施設課	総務係・こども教育係・施設管理係	3	1	1	くにみ幼稚園運営事業	69	
教育総務/施設課	総務係・こども教育係・施設管理係	3	1	1	児童健全育成事業	70	

所属課	係名	目標	政策	施策	事業名称	頁	創生・過疎
教育総務/施設課	施設管理係	3	1	1	子どもクラブ事業	71	
教育総務/施設課	総務係・こども教育係・施設管理係	3	1	1	預かり保育運営事業（くにみ幼稚園）	72	
教育総務/施設課	施設管理係	3	1	1	くにみもたん広場運営事業	73	
生涯学習課	生涯学習係	3	3	1	社会教育事業	74	
生涯学習課	生涯学習係	3	3	1	地域学校協働本部事業	75	
生涯学習課	文化スポ-ツ係	3	3	2	観月台文化センター事業	76	●
生涯学習課	生涯学習係	3	3	1	図書館事業	77	
生涯学習課	文化スポ-ツ係	3	3	2	芸術文化振興事業	78	
生涯学習課	文化スポ-ツ係	3	3	3	保健体育事業	79	
生涯学習課	文化スポ-ツ係	3	3	3	体育施設事業	80	●

令和7年度「広報広聴事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	総務課		所管係名	秘書広報係								
総合計画上の位置付け	目 標	5	相互理解と共感のあるまちづくり		前 年 度	当初予算額	7,262 千円					
	政 策 名	1	身近で信頼されるまち			補正額（12月補正まで）	0 千円					
	施 策 名	3	効果的な広報広聴			最終予算額	7,262 千円					
予 算 額	総事業費			特 定 財 源			一般財源					
	金 額	7,379 千円		国庫支出金	0 千円	県支出金	126 千円	地方債	0 千円	その他	288 千円	6,965 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	1.7 %	0.0 %	3.9 %	94.4 %				
	特定財源の名称			県広報誌配布委託金			広告料			-		
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細					
		2	総務費	8	旅費	37 千円	普通旅費37千円					
10				需用費	4,103 千円	消耗品37千円、印刷製本4066千円						
1		総務管理費	11	役務費	2,000 千円	広告料2000千円						
			13	使用料及び賃借料	1,202 千円	LINEアプリケーション使用料1202千円						
2		文書広報費	18	負担金補助及び交付金	37 千円	日本広報協会15千円、広報研修負担金22千円						
			目名称		千円							
事業の目的	広報くみに、新聞などのマスメディア、ホームページ、SNSなどさまざまな媒体を活用して町の情報を発信する。タウンミーティングなどにより広聴事業の充実を図る。											
事業の概要	①広報くみにみの発行 ②新聞などマスメディアの広告 ③ホームページ、SNSなどによる情報発信 ④情報発信に関する研修 ⑤タウンミーティング など											
事業の効果	各媒体を活用した発信により町内外へ効果的に情報を伝え、それぞれのターゲットに応じた情報発信ができる。また、タウンミーティングなどにより町民の個別の声を聴き、政策課題に反映することができる。											
次年度以降の見込み	庁内での連携を図り効果的な情報発信を展開するとともに、タウンミーティングを継続する。											



令和7年度「ふるさと国見町応援寄付金事業」の概要

所管課名	総務課		所管係名	財政係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。						
総合計画上の位置付け	目 標	5	相互理解と共感のあるまちづくり		前 年 度	当初予算額	211,002 千円				
	政 策 名	1	身近で信頼されるまち			補正額（12月補正まで）	0 千円				
	施 策 名	1	持続可能な行財政運営			最終予算額	211,002 千円				
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源				
	金 額	224,213 千円	国庫支出金	千円	県支出金	千円	地方債	千円	その他	224,213 千円	千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %	0.0 %				
	特定財源の名称						ふるさと振興基金利子、ふるさと国見町応援寄付金	-			
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細				
2		総務費	11	役務費	4,824 千円	決済手数料					
			12	委託料	74,776 千円	ふるさと納税業務委託料（返礼品代、発送代行料、送料等）					
1		総務管理費	13	使用料及び賃借料	30,129 千円	ポータルサイトシステム使用料					
			24	積立金	114,484 千円	ふるさと振興基金積立金（ふるさと納税収益分）、ふるさと振興基金積立金（利子分）					
目		目名称			千円						
8		企画費			千円						
				千円							
事業の目的	●ふるさと納税を通して、自主財源を確保するとともに、返礼品により国見町の特産品及び魅力を全国に幅広く発信する。										
事業の概要	●ふるさと納税者に返礼品を贈呈 ①令和4年度寄附金額実績 209,793千円 寄附者数 5,422人 ②令和5年度寄附金額実績 244,304千円 寄附者数 5,237人 ③令和6年度寄附金額実績 298,503千円 寄附者数 4,502人（令和7年1月末現在）										
事業の効果	●ふるさと納税によって自主財源を確保するとともに、返礼品により国見町の特産品や魅力が全国に発信される。										
次年度以降の見込み	●広告運用、返礼品の拡充を図り、ふるさと納税の新規寄附者、リピーターの確保に向けた取り組みを行う。										

令和7年度「総合計画推進事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	企画調整課		所管係名	総合政策係			
総合計画上の位置付け	目 標	5	相互理解と共感のあるまちづくり		前 年 度	当初予算額	370 千円
	政 策 名	1	身近で信頼されるまち（行財政）			補正額（12月補正まで）	1,100 千円
	施 策 名	1	持続可能な行財政運営			最終予算額	1,470 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	677 千円	千円	千円	千円	千円	677 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
	特定財源の名称						-
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
	2	総務費	1	報酬	588 千円	総合計画審議会委員報酬4回分	
			8	旅費	8 千円	総合計画審議会委員費用弁償	
	項	項名称	10	需用費	28 千円	消耗品費	
	1	総務管理費	18	負担金補助及び交付金	53 千円	全国過疎地域連盟	
						千円	
	目	目名称			千円		
8	企画費			千円			
				千円			
事業の目的	町総合計画、総合戦略、過疎地域持続的発展計画の進捗管理を的確に行うことにより、各施策間の調整、年度間の事業の調整等を行う。						
事業の概要	①総合計画審議会の開催 ②総合計画、総合戦略、過疎地域持続的発展計画の進捗管理 ③総合計画検証、評価等の実施						
事業の効果	適切な進捗管理を行うことにより、町の施策の継続的な実施、公平公正な町政を実現し、町の維持発展が図られる。						
次年度以降の見込み	次年度以降も継続して行う。						



令和7年度「まちづくり推進事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	企画調整課		所管係名	総合政策係							
総合計画上の位置付け	目 標	6	町として生きるまちづくり		前 年 度	当初予算額	17,047 千円				
	政 策 名	1	力をあわせてつくるまち（協働）			補正額（12月補正まで）	2,228 千円				
	施 策 名	1	協働のまちづくりの推進			最終予算額	19,275 千円				
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源				
	金 額	14,331 千円	国庫支出金	千円	県支出金	千円	地方債	千円	その他	13,600 千円	731 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	94.9 %	5.1 %				
	特定財源の名称						みらいを描く市町村等支援事業助成金	-			
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細				
2		総務費	8	旅費	155 千円	普通旅費					
			10	需用費	10 千円	消耗品費10					
1		総務管理費	11	役務費	66 千円	キャラクタークリーニング* 66					
			18	負担金補助及び交付金	14,100 千円	まちづくり推進協議会13,600、東京ふるさと国見会500					
目		目名称			千円						
8	企画費			千円							
事業の目的	地域づくり・地域活性化に関する事業の支援を行うことで、国見町全体の活性化を主な目的とする。										
事業の概要	①まちづくり推進協議会の運営補助・フォトコンテストの開催 ②東京ふるさと国見会の総会・交流会等の開催										
事業の効果	各事業・イベントについて実行委員会と協力して実施したことによる全町民参加の町づくり、協働意識の醸成に寄与している										
次年度以降の見込み	次年度以降も継続して行う。										



令和7年度「定住化促進総合対策事業」の概要

創生・過疎

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	企画調整課	所管係名	過疎対策係								
総合計画上の位置付け	目 標	6	町として生きるまちづくり				前 年 度	当初予算額	32,136 千円		
	政 策 名	2	人が集まりまた来たくなるまち（交流連携）					補正額（12月補正まで）	202 千円		
	施 策 名	2	移住定住と関係人口創出					最終予算額	32,338 千円		
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源				
	金 額	19,612 千円	国庫支出金	千円	県支出金	8,618 千円	地方債	千円	その他	1,416 千円	9,578 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	43.9 %	0.0 %	7.2 %	48.8 %				
	特定財源の名称		<ul style="list-style-type: none"> ●地方創生推進交付金(移住・起業・就業47)5850 ●地方就職学生支援18 ●地域創生総合支援事業補助金750 ●来てふくしま住宅取得支援2000 				●行政財産使用料		-		
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細				
		2	総務費	8	旅費	222 千円	普通旅費				
				10	需用費	463 千円	消耗品費53、印刷製本費410				
1		総務管理費	11	役務費	10 千円	火災保険料					
			12	委託料	1,000 千円	地域プロモーション（SNS幸せ発信1,000）					
14		工事請負費	100 千円	大坂オフィス施設修繕工事							
目	目名称	18	負担金補助及び交付金	17,816 千円	負担金424（移住フェア374、ふるさと回帰センター50）補助金17,392（移住支援金7,800、地方就職学生支援102、住宅取得7,500、空家改修1,800、お試し滞在宿泊費100、宅地購入利子90）						
8	企画費	27	繰出金	1 千円	土地開発事業特別会計へ(存目)						
事業の目的	首都圏など町外からの移住定住、二地域居住の促進を図り、人口減少に歯止めをかける。										
事業の概要	①関係人口創出や移住定住希望者へ向けたSNSでの情報発信 ②移住者に対する支援金の交付、住宅取得及び空家改修等の補助										
事業の効果	町の魅力をPRし、移住、定住、二地域居住者を誘導することによって、地域活性化が図られ、移住定住者の増や人口減少の歯止めに寄与している										
次年度以降の見込み	次年度以降も継続して行う。										



撮影 中村晃

令和7年度「国見ホイスコーレ事業」の概要

創生・過疎

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	企画調整課		所管係名	総合政策係			
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり		前 年 度	当初予算額	8,000 千円
	政 策 名	2	生きる力をはぐくむまち			補正額（12月補正まで）	千円
	施 策 名	2	地域とともにある教育			最終予算額	8,000 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	5,600 千円	800 千円	3,000 千円	千円	千円	1,800 千円
	構成比	100.0 %	14.3 %	53.6 %	0.0 %	0.0 %	32.1 %
	特定財源の名称		福島再生加速化交付金 (地域魅力向上)	地域創生総合支援事業 (サポート事業) 補助金			-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
2		総務費	12	委託料	5,600 千円	アーティストティックなまちづくり事業4,000、クニミノマド1,600	
		項		項名称	千円		
		1	総務管理費		千円		
		目	目名称		千円		
		8	企画費		千円		
事業の目的	若者を地域ぐるみで育成することで、未来の国見町を担う人物を育てると同時に地域住民も若者への理解を深め、相互の繋がりを促進する。また、その感性や柔軟な発想をまちづくりや起業、商品開発などへと繋げる。						
事業の概要	①盆地と里の芸術祭（関係人口創出や起業等につながる町の魅力発見事業を実施） ②クニミノマド(桃・りんごの木オーナー制度等を使って町農産品のPRや関係人口の創出を行う)						
事業の効果	地域資源を活かした多様な交流・学びの場や発表の場を設けることで、特に若者の「思考力・表現力・判断力」「学ぶ意欲・姿勢」を育成するとともに、関係人口も含めた地域への愛着を醸成する。						
次年度以降の見込み	事業内容の見直し等をしながら次年度以降も継続して行う。						



令和7年度「交流連携推進事業」の概要

創生・過疎

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	企画調整課		所管係名	総合政策係			
総合計画上の位置付け	目 標	6	町として生きるまちづくり		前 年 度	当初予算額	1,223 千円
	政 策 名	2	人が集まりまた来たくなるまち（交流連携）			補正額（12月補正まで）	2,400 千円
	施 策 名	1	交流連携の推進			最終予算額	3,623 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	4,207 千円	千円	千円	千円	2,660 千円	1,547 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	63.2 %	36.8 %
	特定財源の名称						みらいを描く市町村等支援事業助成金、特別交付税措置
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
	2	総務費	7	報償費	250 千円	事業謝礼	
			8	旅費	203 千円	費用弁償	
	項	項名称	10	需用費	284 千円	消耗品費84、燃料費10、会議費44、対外交流費30、印刷製本費76、賄材料費40	
	1	総務管理費	12	委託料	180 千円	福島ユナイテッドFC	
			18	負担金補助及び交付金	3,290 千円	福島ユナイテッドFC125、国際交流10、活性化センター80、ふくしま田園中枢都市圏合同事業3,075	
目	目名称			千円			
8	企画費			千円			
				千円			
事業の目的	域学連携、包括連携、地域間交流などの事業実施により、交流連携の推進と関係人口の拡大を図り、地域活性化と地域の人材育成に寄与する。民間企業との連携により、新産業創出をめざした取り組みを進める。						
事業の概要	①集落活性化やまちづくりに関する大学や高校との域学連携 ②金融機関・企業との包括的な連携(信金、福島ユナイテッドFC) ③圏域連携中枢都市圏内での交流連携事業、国際交流の推進 ④農産物関係人口創出						
事業の効果	各種、各層での交流連携を図ることにより、交流人口、関係人口の拡大、雇用の拡大が図られる						
次年度以降の見込み	次年度以降も継続して行う。						



令和7年度「地域おこし協力隊活動事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	企画調整課		所管係名	総合政策係				
総合計画上の 位置付け	目 標	6	町として生きるまちづくり		前 年 度	当初予算額	38,087 千円	
	政 策 名	2	人が集まりまた来たくなるまち（交流連携）			補正額（12月補正まで）	1,000 千円	
	施 策 名	2	移住定住と関係人口創出			最終予算額	39,087 千円	
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	57,385 千円		千円	千円	千円	56,385 千円	1,000 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	0.0 %	98.3 %	1.7 %
	特定財源の名称						●特別交付税措置	-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		2	総務費	1	報酬	21,295 千円	地域おこし協力隊報酬（9人）（総務課所管分）	
				2	給料	2,376 千円	地域おこし協力隊給料（1人）（総務課所管分）	
		1	総務管理費	3	職員手当等	9,034 千円	地域おこし協力隊期末勤勉手当等（10人）（総務課所管分）	
				4	共済費	1,460 千円	地域おこし協力隊共済組合（10人）（総務課所管分）	
目		目名称	7	報償費	720 千円	協力隊インターン（お試し活動）報償費		
			12	委託料	20,500 千円	活動費10人15,000、募集1,500、インターン1,000、サポート3,000		
8	企画費	18	負担金補助及び交付金	2,000 千円	起業・事業継承支援補助金			
事業の目的	人口減少と少子高齢化が著しい本町において、町外の人材を積極的に誘致し、もって地域の活力維持と地域活性化の担い手となる人材の確保を目的とする。							
事業の概要	①関係人口創出に関する活動 ②地域ブランド開発に関する活動 3年目2名、2年目3名、新規採用5名							
事業の効果	協力隊員の熱意と行動力が地域に大きな刺激を与えることによって地域活性化が促進される。							
次年度以降の見込み	次年度以降も継続して行う。							



令和7年度「デジタル変革（DX）推進事業」の概要

所管課名	企画調整課		所管係名	総合政策係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。						
総合計画上の位置付け	目 標	5	相互理解と共感のあるまちづくり		前 年 度	当初予算額	0 千円				
	政 策 名	1	身近で信頼されるまち（行財政）			補正額（12月補正まで）	千円				
	施 策 名	1	持続可能な行財政運営			最終予算額	0 千円				
予 算 額	総事業費		特 定 財 源			一般財源					
	金 額	203,349 千円	国庫支出金	千円	県支出金	千円	地方債	千円	その他	160,369 千円	42,980 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	78.9 %	21.1 %				
	特定財源の名称					デジタル基盤改革支援補助		-			
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細				
2		総務費	8	旅費	20 千円	普通旅費					
			12	委託料	180,293 千円	システム標準化移行132,498、ガバメントクラウド構築・運用管理47,795					
1		総務管理費	13	使用料及び賃借料	23,036 千円	LoGoチャット使用料396、ガバメントクラウド利用料22,640					
						千円					
						千円					
					千円						
事業の目的	デジタル技術を活用した行政事務の効率化と住民サービスの向上や地域の活性化を目指し、DX推進事業を行う。					<p>新たな社会 “Society 5.0”</p> <p>5.0</p> <p>1.0 Society 1.0 狩猟</p> <p>2.0 Society 2.0 農耕</p> <p>3.0 Society 3.0 工業</p> <p>4.0 Society 4.0 情報</p> <p>内閣府作成</p>					
事業の概要	①基幹系システム（総合行政）の標準システムへの移行 ②ガバメントクラウドの構築及び運用 ③DXの推進										
事業の効果	DXの推進に取り組むことで住民サービスの向上と地域社会の持続可能な発展を図り、誰もが便利で快適な住みやすいまちづくりに寄与する。										
次年度以降の見込み	次年度以降も継続して行う。										

令和7年度「歴史まちづくり事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	企画調整課		所管係名	地域振興係				
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり		前 年 度	当初予算額	3,207 千円	
	政 策 名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち（生涯学習）			補正額（12月補正まで）	2,170 千円	
	施 策 名	4	歴史まちづくりの推進			最終予算額	5,377 千円	
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	3,138 千円		0 千円	千円	千円	533 千円	2,605 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	0.0 %	17.0 %	83.0 %
	特定財源の名称						●みらいを描く市町村等 支援事業助成金	-
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細		
	2	総務費	7	報償費	123 千円	歴史的風致維持向上計画協議会103、くにみ案内人育成事業20		
			8	旅費	311 千円	協議会委員費用弁償123、くにみ案内人活動92、普通旅費96		
	項	項名称	10	需用費	10 千円	事務用品		
	1	総務管理費	11	役務費	14 千円	くにみ案内人安全保険料		
			12	委託料	2,555 千円	建造物活用300、防塁活用500、歴史まちづくりイベント1,700、音旅保守管理55		
	目	目名称	13	使用料及び貸借料	75 千円	自動車借上げ（くにみ案内人活動）		
10	歴史まちづくり推進費	18	負担金補助及び交付金	50 千円	歴史的景観都市協議会			
				千円				
事業の目的	国見町歴史的風致維持向上計画に基づく「歴史を活かしたまちづくり」への町民意識の醸成・啓蒙活動・調査研究・情報発信に寄与する事業を実施するもの							
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史まちづくりイベント：歴史館イベント・シンポジウムを歴史まちづくりフォーラムへ委託 ・建造物・防塁活用：歴史的建造物の公開活用事業・防塁活用イベントの実施 							
事業の効果	阿津賀志山防塁等、国見町を代表する歴史資源を活用したイベントを開催することで、住民参画による歴史まちづくりの実践及び町内外への「歴史のまち国見」の啓蒙が図られる。							
次年度以降の見込み	事業の費用対効果を見極めながら、来年度以降も国見町の歴史を町内外に発信していくための事業を実施する。							

令和7年度「阿津賀志山防塁史跡等総合活用事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	企画調整課		所管係名	地域振興係			
総合計画上の 位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり		前 年 度	当初予算額	2,523 千円
	政 策 名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち（生涯学習）			補正額（12月補正まで）	千円
	施 策 名	4	歴史まちづくりの推進			最終予算額	2,523 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	3,610 千円	2,000 千円	千円	千円	千円	1,610 千円
	構成比	100.0 %	55.4 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	44.6 %
	特定財源の名称		●歴史生き活き！史跡等 総合活用(〇〇頁)				-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
10		教育費	8	旅費	58 千円	文化庁指導	
			10	需用費	39 千円	消耗品25、燃料費14	
項		項名称	12	委託料	2,728 千円	支障木伐採委託（二重堀始点地区）	
5		社会教育費	13	使用料及び貸借料	106 千円	公用車借上88、コピー機借上18	
			14	工事請負費	679 千円	史跡境界杭設置	
目	目名称						
6	文化財保護費						
事業の目的	阿津賀志山防塁の史跡整備計画を進め、史跡整備・周辺整備を行う。					 <p>阿津賀志山防塁二重堀始点地区</p>	
事業の概要	・阿津賀志山防塁二重堀始点地区の支障木伐採業務						
事業の効果	二重堀始点地区の支障木伐採整備により、史跡空間の魅力向上を図る。						
次年度以降の見込み	伐採については令和7年度で終了。事業は次年度以降も継続						

令和7年度「阿津賀志山防塁保存活用計画策定事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	企画調整課		所管係名	地域振興係			
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり		前 年 度	当初予算額	0 千円
	政 策 名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち（生涯学習）			補正額（12月補正まで）	千円
	施 策 名	4	歴史まちづくりの推進			最終予算額	0 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	5,615 千円	3,000 千円	千円	千円	千円	2,615 千円
	構成比	100.0 %	53.4 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	46.6 %
	特定財源の名称		●史跡等保存活用計画等策定事業				-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
		10	教育費	7	報償費	83 千円	保存活用計画策定委員等報償
				8	旅費	104 千円	整備指導委員等費用弁償46、文化庁指導58
		項	項名称	10	需用費	31 千円	消耗品17、燃料費14
		5	社会教育費	12	委託料	5,291 千円	計画策定支援業務委託
13				使用料及び貸借料	106 千円	公用車借上88、コピー機借上18	
目	目名称						
6	文化財保護費						
事業の目的	阿津賀志山については史跡の保護を目的とした「阿津賀志山防塁保存管理計画（平成6年1月策定）」があるが、この間の史跡箇所追加・公有地化・整備実施など策定当時から状況が変わっている。新たに現状に即した計画を策定するもの。					 <p>阿津賀志山山頂地区</p>	
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡範囲測量業務 ・保存活用計画策定委員会の開催 						
事業の効果	保存活用計画を策定し、計画的な史跡空間の魅力向上を図る。						
次年度以降の見込み	令和8年度策定予定。						

令和7年度「歴史公園管理事業」の概要

創生・過疎

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	企画調整課		所管係名	地域振興係			
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり		前 年 度	当初予算額	3,257 千円
	政 策 名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち（生涯学習）			補正額（12月補正まで）	503 千円
	施 策 名	4	歴史まちづくりの推進			最終予算額	3,760 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	2,757 千円	千円	千円	2,000 千円	千円	757 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	72.5 %	0.0 %	27.5 %
	特定財源の名称				●歴史を活かしたまち意識醸成事業債		-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
10		教育費	10	需用費	590 千円	事務消耗品100、水道光熱費390、修繕料100	
			11	役務費	68 千円	手数料10、建物災害共済58	
項		項名称	12	委託料	2,099 千円	浄化槽管理委託99、施設管理委託2,000	
5		社会教育費			千円		
					千円		
目	目名称			千円			
6	文化財保護費			千円			
				千円			
事業の目的	あつかし千年公園の施設等について安定した維持管理等を行う。 また、公園等の周知・活用のため各種イベントを開催する。						
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> あつかし千年公園の施設等に係る維持管理経費（水道光熱費、維持管理委託等） あつかし千年公園活用事業（蓮まつり、蓮絵画コンクール） 						
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> 公園の安定した運営管理及び来場者への利便性の向上等が図られる。 公園および町内の歴史文化資源の周知啓発が図られるとともに、公園の活用が推進される。 						
次年度以降の見込み	継続実施。						

令和7年度「文化財センター（あつかし歴史館）管理事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	企画調整課		所管係名	地域振興係			
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり		前年度	当初予算額	10,821 千円
	政 策 名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち（生涯学習）			補正額（12月補正まで）	0 千円
	施 策 名	4	歴史まちづくりの推進			最終予算額	10,821 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	14,932 千円	千円	千円	千円	千円	14,932 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
	特定財源の名称						-
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
	10	教育費	2	給料	7,611 千円	会計年度任用職員給料（3人）（総務課所管分）	
			3	職員手当等	3,259 千円	会計年度任用職員期末勤勉手当等（3人）（総務課所管分）	
			4	共済費	1,814 千円	会計年度任用職員共済組合（総務課所管分）	
	項	項名称	7	報償費	598 千円	サポーター謝礼	
	5	社会教育費	8	旅費	26 千円	管理運営委員費用弁償	
			10	需用費	435 千円	事務消耗品55、燃料費35、光熱水費345	
	目	目名称	11	役務費	188 千円	電話料78、浄化槽検査料10、建物災害共済87、安全保険料13	
	6	文化財保護費	12	委託料	179 千円	消防設備点検55、浄化槽管理委託124	
			13	使用料及び貸借料	272 千円	公用車借上218、コピー機借上54	
14			工事請負費	550 千円	展示室空調修繕工事		
事業の目的	国見町文化財センター「あつかし歴史館」の適切な管理と、地域住民と連携した運営により、国見町の歴史・文化の魅力と情報発信を図る。					 あつかし歴史館「町民講座」  国見小学校フィールドワーク	
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・施設管理（法定点検・光熱水費） ・収蔵資料整理作業・常設・特設展示品の充実 ・あつかし歴史館サポーターによる案内 						
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史文化遺産の収蔵・研究・情報発信により歴史館の魅力を上させ、来館者の増加を図り、歴史を活かしたまちづくりの推進に寄与する ・親しみのある開かれた施設として、地域コミュニティの維持に寄与する 						
次年度以降の見込み	維持管理、運営事業の継続						

令和7年度「交通安全対策事業」の概要

所管課名	住民防災課		所管係名	生活交通係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。						
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全・安心、優しいまちづくり		前 年 度	当初予算額	2,761 千円				
	政 策 名	1	安全・安心に暮らせるまち			補正額（12月補正まで）	3,169 千円				
	施 策 名	3	交通安全・防犯の推進			最終予算額	5,930 千円				
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源				
	金 額	2,723 千円	国庫支出金	千円	県支出金	千円	地方債	千円	その他	千円	2,723 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %			
	特定財源の名称						-				
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細				
2		総務費	1	報酬	1,062 千円	交通教育専門員2名					
			7	報償費	78 千円	記念品（ランドセルカバー、交通安全大学修了式記念品、標語コンクール）					
1		総務管理費	8	旅費	38 千円	各種会議、研修会等					
			10	需用費	268 千円	啓発資材258千円、対外交流費10千円					
目		目名称	11	役務費	134 千円	新聞広告料33千円、看板作製手数料101千円					
			14	工事請負費	500 千円	カーブミラー設置等					
6		交通安全対策費	18	負担金補助及び交付金	628 千円	各種団体負担金268千円、補助金360千円（交協160千円、母の会160千円、シルバー40千円）					
	19		扶助費	15 千円	交通遺児激励金						
事業の目的	交通安全活動の推進により安全で住みよいまちづくりを目指す。										
事業の概要	①交通安全の啓発活動 ②関係団体等と連携し、交通安全の推進を図る。 ③カーブミラーの整備により危険個所の解消を図る。										
事業の効果	交通安全運動への協力、啓発活動等への参加、危険個所などの把握や情報共有など、町の交通安全の推進に寄与している。										
次年度以降の見込み	交通事故が、1件でも少なくなるよう継続的な取り組みが必要。										



令和6年度ふくしま・みやぎ県境キャンペーン

令和7年度「防犯活動事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	住民防災課		所管係名	生活交通係				
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全・安心、優しいまちづくり		前 年 度	当初予算額	28,534 千円	
	政 策 名	1	安全・安心に暮らせるまち			補正額（12月補正まで）	12,834 千円	
	施 策 名	3	交通安全・防犯の推進			最終予算額	41,368 千円	
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	52,593 千円		千円	千円	19,500 千円	千円	33,093 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	37.1 %	0.0 %	62.9 %
	特定財源の名称				防犯灯LED化事業債		-	
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
2		総務費	8	旅費	3 千円	各種会議		
			10	需用費	6,705 千円	防犯灯電気料4,200千円、修繕費2,500千円、対外交流費5千円		
1		総務管理費	12	委託料	487 千円	台帳管理システム改修130千円、システム保守357千円		
			14	工事請負費	45,167 千円	防犯灯LED化工事43,967千円、防犯灯設置工事1,200千円		
6		交通安全対策費	18	負担金補助及び交付金	231 千円	桑折地区防犯協会負担金156千円、防犯協会各支部補助金75千円		
			目名称		千円			
事業の目的	防犯活動の推進により、安全で住みよいまちづくりを目指す。							
事業の概要	①防犯灯の維持管理（設置・修繕等） ②安全施設（防犯灯・反射鏡・消防水利）台帳システムの保守管理 ③LED化工事（2か年計画により、防犯灯や施設外灯のLED化を図る）							
事業の効果	台帳管理システムにより、防犯灯等の適正な管理が行われ、設置や修繕等の対応を迅速に行えており、防犯に寄与している。また、町内の蛍光灯による防犯灯や、施設の照明をLED灯に改修し、消費電力の少量化を図る。							
次年度以降の見込み	事件等を1件でも少なくなるよう、継続的な取り組みが必要。							



令和7年度「町内会事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	住民防災課		所管係名	生活交通係			
総合計画上の 位置付け	目 標	6	町として生きるまちづくり		前 年 度	当初予算額	12,629 千円
	政 策 名	1	力をあわせてつくるまち			補正額（12月補正まで）	303 千円
	施 策 名	1	協働のまちづくりの推進			最終予算額	12,932 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	12,214 千円	千円	千円	千円	千円	12,214 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
	特定財源の名称						-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
2		総務費	7	報償	11,719 千円	町内会長、班長報酬	
			8	旅費	87 千円	町内会長連絡協議会視察研修随行	
項		項名称	10	需用費	8 千円	町内会連絡協議会飲物代	
1		総務管理費	12	委託料	300 千円	町内会長研修委託	
			18	負担金補助及び交付金	100 千円	町内会連絡協議会運営補助	
目		目名称			千円		
7	自治振興費			千円			
				千円			
事業の目的	町内会活動の推進により、協働のまちづくりを目指す。						
事業の概要	①行政事務の連携・円滑化 ②町内会長の相互理解 ③地域社会の形成						
事業の効果	行政と地域住民、地域と地域をつなぎ、良好な地域社会を形成し、まちづくりに寄与している。						
次年度以降の見込み	地域の実情に応じ、地域の課題を1件でも解決できるよう、継続的な取り組みが必要。						



令和6年度町内会長連絡協議会総会

令和7年度「地域公共交通支援事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	住民防災課		所管係名	生活交通係				
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全・安心な優しいまちづくり		前 年 度	当初予算額	19,045 千円	
	政 策 名	2	便利で快適なまち			補正額（12月補正まで）	527 千円	
	施 策 名	2	利用しやすい公共交通			最終予算額	19,572 千円	
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	21,345 千円		千円	2,440 千円	千円	1,780 千円	17,125 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	11.4 %	0.0 %	8.3 %	80.2 %
	特定財源の名称			市町村生活交通対策事業		デマンド型乗合タクシー事業負担金		-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		2	総務費	7	報償費	11 千円	地域公共交通あり方協議会	
8				旅費	101 千円	費用弁償（地域公共交通会議、地域公共交通あり方協議会、福祉有償運送協議会）等		
項		項名称	12	委託料	17,000 千円	まちなかタクシー運行委託		
1		総務管理費	13	使用料及び賃借料	4 千円	貝田駅構内自転車置場		
			18	負担金補助及び交付金	3,029 千円	各種負担金29千円、生活バス路線維持補助金3,000千円		
目	目名称	19	扶助費	1,200 千円	ももたんバス事業			
8	企画費			千円 千円				
事業の目的	利用しやすい地域公共交通体系の形成を目指し、交通弱者等の足を確保する。				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 国見町の公共交通 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 2px solid blue; padding: 10px; text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">町内の移動</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">まちなかタクシー</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ももたんバス</div> </div> <div style="border: 2px solid blue; padding: 10px; text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">町外への移動</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">J R</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">福島交通</div> </div> </div>			
事業の概要	①地域公共交通あり方協議会等費用弁償等 ④ももたんバス事業 ②まちなかタクシー運行委託 ③生活バス路線維持補助金							
事業の効果	生活に密着した地域公共交通を維持することで、便利で快適なまちづくりに寄与している。							
次年度以降の見込み	社会や地域の変化にあわせ、見直しを進め、より良い公共交通が構築できるよう継続的な取り組みが必要。							

令和7年度「ごみ減量化対策事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	住民防災課		所管係名	生活交通係			
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全・安心な優しいまちづくり		前 年 度	当初予算額	2,064 千円
	政 策 名	3	環境に優しいまち			補正額（12月補正まで）	177 千円
	施 策 名	1	循環・再生型社会の実現			最終予算額	2,241 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	2,482 千円	0 千円	0 千円	千円	92 千円	2,390 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	3.7 %	96.3 %
	特定財源の名称					不燃物収集容器売却代	-
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
	4	衛生費	7	報償費	1,050 千円	資源ごみ回収団体奨励金	
			10	需用費	158 千円	クリーンボックス購入	
	2	清掃費	12	委託料	400 千円	資源ごみ収集運搬処分委託	
			13	使用料及び賃借料	80 千円	小型家電リサイクルセンサーリース料	
	3	ごみ減量化対策費	18	負担金補助及び交付金	794 千円	ごみ置場改修等補助194千円、生ごみ処理機購入補助600千円	
						千円	
					千円		
				千円			
事業の目的	資源ごみを回収し、町全体のごみの減量化やごみの再利用を促進し、循環型社会形成を目指すもの。						
事業の概要	①資源ごみ収集運搬処分委託 ④生ごみ処理モニター事業 ②資源ごみ回収団体奨励金 ③ごみ置場等の回収補助事務						
事業の効果	資源ごみを回収し、ごみの減量化やごみの再利用を促進し、循環型社会形成に寄与している。生ごみ処理機購入補助金制度の導入に向け、生ごみ処理機の効用、機器啓発、ごみ減量化意識を高めると共に、費用効果等を確認する。						
次年度以降の見込み	循環型社会を構築するため、継続した取り組みが必要。						



生ごみは約80%が水分です。水分をよく切ってから出しましょう。



令和7年度「消防団活動事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	住民防災課		所管係名	危機管理係			
総合計画上の 位置付け	目 標	2	安全・安心な優しいまちづくり		当初予算額	24,521 千円	
	政 策 名	1	安全・安心に暮らせるまちづくり		補正額 (12月補正まで)	2,000 千円	
	施 策 名	2	消防・救急体制の充実		最終予算額	26,521 千円	
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	24,546 千円	0 千円	0 千円	千円	10 千円	24,536 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
	特定財源の名称					@10千円 (共済事務手数料)	-
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
	9	消防費	1	報酬	10,979 千円	消防団員報酬	
			7	報償費	950 千円	機関団員、訓練指導員、優良分団、団員、退職団員、初午等	
	項	項名称	8	旅費	2,864 千円	費用弁償-火災・点検等2,650千円、普通旅費-会議16千円、特別旅費-研修等198千円	
	1	消防費	10	需用費	2,175 千円	消耗品費-制服等2,000千円、式典費-定期点検等175千円	
			11	役務費	36 千円	クリーニング代36千円	
	目	目名称	12	委託料	69 千円	定期点検送迎委託69千円	
	2	非常備消防費	13	使用料及び賃借料	840 千円	タクシー使用料48千円、消防団員アシストアプリ利用料792千円	
18			負担金補助及び交付金	6,633 千円	幹部研修負担金35千円、災害補償組合5,721千円、福祉共済798千円、消防学校入校47千円、消防学校校友会7千円、警察官友の会5千円、女性防火クラブ補助金20千円		
事業の目的	消防団員の確保や消防団活動に技術の習得を図り、国見町の消防力の維持を目指すもの。						
事業の概要	①消防団員の確保 ②幹部、指導員、機関団員別の研修 ③定期点検や初午による訓練成果の披露						
事業の効果	消防団活動を活性化することで、消防団の活動への理解を深め、技術の習熟を図り、消防力の維持に寄与している。						
次年度以降の見込み	町の消防力を維持するため、継続した取り組みが必要						

令和7年度「消防施設整備事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	住民防災課		所管係名	危機管理係				
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全・安心な優しいまちづくり		当初予算額	20,980 千円		
	政 策 名	1	安全・安心に暮らせるまちづくり		補正額（12月補正まで）	11,160 千円		
	施 策 名	2	消防・救急体制の充実		最終予算額	32,140 千円		
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	62,250 千円		0 千円	0 千円	61,100 千円	0 千円	1,150 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	98.2 %	0.0 %	1.8 %
	特定財源の名称				@12,100千円（防火水槽設置事業債）、@5,200千円（消火栓等設置事業債）、@31,600千円（消防屯所改築事業債）、@12,200千円（消防車両更新事業債）		-	
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
9		消防費	12	委託料	1,380 千円	防火水槽設置工事測量設計1基500千円、消防屯所建築工事設計監理880千円		
項		項名称	14	工事請負費	47,660 千円	防火水槽設置1基11,000千円、消火栓設置4基5,200千円、消防屯所建築23,100千円、消防屯所駐車場整備7,700千円、防火水槽撤去1基660千円		
1		消防費	17	備品購入費	13,210 千円	ホース・格納箱等1,000千円、消防車両（可搬ポンプ搭載型）1台12,210千円		
目		目名称			千円			
3		消防施設費			千円			
事業の目的	防火水槽や消火栓、屯所等の整備更新を進め、消防力の維持向上を目指すもの。							
事業の概要	消防水利の整備及び更新 計画的に老朽屯所の改築を行う。							
事業の効果	防火水槽や消火栓を整備更新することで、消防力の維持向上に寄与している。							
次年度以降の見込み	町の消防力を維持向上するため、継続した取り組みが必要							

令和7年度「災害対策事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	住民防災課		所管係名	危機管理係		
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全・安心な優しいまちづくり		当初予算額	15,245 千円
	政 策 名	1	安全・安心に暮らせるまちづくり		補正額（12月補正まで）	0 千円
	施 策 名	1	防災と災害時対策の充実		最終予算額	15,245 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源			一般財源
	金 額	18,167 千円	国庫支出金	0 千円	県支出金	0 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	地方債	10,900 千円
	特定財源の名称				その他	0 千円
						7,267 千円
内 訳	款 名称		節	節名称	予算額	明 細
	9	消防費	1	報酬	65 千円	防災会議等委員報酬
			8	旅費	13 千円	各種会議
	1	消防費	10	需用費	2,026 千円	消防品－備蓄品等1,000千円、燃料費－発電機・公用車126千円、給食費－訓練炊出材料140千円、光熱水費－防災行政無線110千円、修繕料－県防災500千円、町防災100千円、公用車50千円
			11	役務費	701 千円	通信運搬338千円、手数料304千円、火災保険料6千円、損害保険料53千円
	5	災害対策費	12	委託料	2,877 千円	防災行政無線点検2,277千円、個別受信機修繕600千円
			13	使用料及び賃借料	442 千円	TV受信料13千円、防災無線電波使用料33千円、緊急速報メールシステム利用料396千円
	26	公課費	14	工事請負費	2,970 千円	Jアラート受信機更新工事2,970千円
			18	負担金補助及び交付金	9,048 千円	防災ヘリ協議会436千円、県防総合ネットワーク回線使用料・保守212千円 県防総合ネットワーク機器更新8,000千円、県防災アプリ負担金90千円、自主防災会310千円
			26	公課費	25 千円	公用車重量税25千円
事業の目的	災害発生時に備え、町や地域の防災訓練、食料や避難所用品の備蓄、防災行政無線等の通信手段の確保、非常時の計画策定などの対策を進め、防災力の維持向上を目指すもの。					
事業の概要	①防災訓練 ②食料や避難所用品の備蓄 ③防災行政無線等の通信手段の維持					
事業の効果	各種防災対策を推進することで、防災力の維持向上に寄与している					
次年度以降の見込み	町の防災力を維持向上させるため、継続した取り組みが必要					

令和7年度「高齢者医療事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	ほけん課		所管係名	国保係							
総合計画上の位置付け	目 標	1	健やかに暮らせるまちづくり		前 年 度	当初予算額	169,188 千円				
	政 策 名	1	いつまでも健康に暮らせるまち（保健）			補正額（12月補正まで）	230 千円				
	施 策 名	1	地域医療連携の推進			最終予算額	169,418 千円				
予 算 額			総事業費		特 定 財 源			一般財源			
			金額	166,574 千円	国庫支出金	2,550 千円	県支出金		27,705 千円	地方債	千円
			構成比	100.0 %	1.5 %	16.6 %	0.0 %	8.2 %	73.6 %		
			特定財源の名称		<small>・長寿健康増進事業補助金 1,395千円 ・後期インセンティブ交付金 1,155千円</small>		<small>・後期保険基盤安定負担金</small>		<small>・一体的実施受託事業収入 9,800千円 ・ふるさと振興基金繰入金 3,900千円</small>		-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細				
		3	民生費	7	報償費	586 千円	（一体的実施）講師等報償				
				8	旅費	96 千円	（一体的実施）講師旅費				
項		項名称	10	需用費	431 千円	（一体的実施）パンフレット、教材費、栄養教室食材等					
1		社会福祉費	12	委託料	660 千円	健康教育					
			18	負担金	116,393 千円	後期広域連合への事務委託分及び医療費分負担金					
目	目名称	27	繰出金	48,408 千円	後期特会への繰出金（事務費、保健事業費、保険基盤安定分）						
2	老人福祉費			千円							
事業の目的	後期高齢者医療広域連合と町が役割分担をして後期高齢者医療制度の安定的な運営を行う。										
事業の概要	後期高齢者医療被保険者の被保険者証の交付、保険料の徴収、各種届出や申請の受付、健康診査、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業などを行う。										
事業の効果	高齢者が安心して医療を受けることができ、健康を維持して生活できるようになる。										
次年度以降の見込み	継続実施										



令和7年度「食育推進事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	ほけん課		所管係名	保健係				
総合計画上の位置付け	目 標	1	健やかに暮らせるまちづくり		前 年 度	当初予算額	183 千円	
	政 策 名	1	いつまでも健康に暮らせるまち			補正額（12月補正まで）	0 千円	
	施 策 名	2	健康づくりの推進			最終予算額	183 千円	
予 算 額	総事業費			特 定 財 源				一般財源
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	193 千円		千円	千円	千円	千円	193 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
	特定財源の名称							-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		4	衛生費	7	報償費	40 千円	謝礼40千円	
10				需用費	153 千円	消耗品費28千円 賄材料費125千円		
項		項名称			千円			
1		保健衛生費			千円			
					千円			
目	目名称			千円				
1	保健衛生総務費			千円				
				千円				
事業の目的	町民の心身の健康の増進と豊かな人間形成、子どもの食育の推進、地域の特色ある食文化の継承を図るため食育事業を展開する。							
事業の概要	【食育料理教室事業】 ・食に関する知識を身につけ、栄養バランスや生活習慣病を予防、また食文化への理解を深めるため食育教室や各種料理教室を開催する。							
事業の効果	様々な経験を通して「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができるようになる。また、地域の食文化を継承に繋がる。							
次年度以降の見込み	継続実施							



令和7年度「予防事業」の概要

所管課名	ほけん課		所管係名	保健係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。			
総合計画上の位置付け	目 標	1	健やかに暮らせるまちづくり		前 年 度	当初予算額	2,273 千円	
	政 策 名	1	いつまでも健康に暮らせるまち			補正額（12月補正まで）	0 千円	
	施 策 名	3	継続的な保健事業の推進			最終予算額	2,273 千円	
予 算 額	総事業費			特 定 財 源				一般財源
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	2,287 千円		千円	千円	千円	千円	2,287 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
	特定財源の名称							-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		4	衛生費	10	需用費	265 千円	消耗品費75千円、医薬材料費190千円	
11				役務費	20 千円	フッ化物洗口事業薬剤保管料20千円		
項		項名称	12	委託料	2,002 千円	結核胸部X線間接撮影2,002千円		
1		保健衛生費			千円			
目		目名称			千円			
2	予防費			千円				
事業の目的	<p>【①結核検診】</p> <ul style="list-style-type: none"> 結核の罹患率の高くなる65歳以上の者に対し結核健康診断を実施することで、結核を早期発見し集団感染を防止し、また患者の重症化を予防する。 <p>【②フッ化物洗口③フッ素歯面塗布事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> う歯を予防するとともに、歯と口の健康を意識するきっかけづくりとする。 							
事業の概要	<p>【①結核検診】</p> <ul style="list-style-type: none"> 65歳以上の町民を対象に、例年6月に実施している「総合検診」において、胸部X線間接撮影を実施。 <p>【②フッ化物洗口】</p> <ul style="list-style-type: none"> くにみ幼稚園の年中児・年長児及び国見小学校の児童の希望者を対象として、1週間に1回、集団でフッ化物洗口を行う。 <p>【③フッ素歯面塗布事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 乳幼児検診の歯科保健指導時に、歯科衛生士によるフッ素歯面塗布を行う。 							
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> 結核健康診断やフッ化物洗口を定期的に行うことにより、結核の予防、う歯予防に繋がる。 							
次年度以降の見込み	継続実施							

令和7年度「健康増進事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	ほけん課		所管係名	保健係				
総合計画上の位置付け	目 標	1	健やかに暮らせるまちづくり		前 年 度	当初予算額	7,331 千円	
	政 策 名	1	いつまでも健康に暮らせるまち			補正額（12月補正まで）	450 千円	
	施 策 名	2	健康づくりの推進			最終予算額	7,781 千円	
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	9,402 千円	千円	1,085 千円	千円	6,380 千円	1,937 千円	
	構成比	100.0 %	0.0 %	11.5 %	0.0 %	67.9 %	20.6 %	
	特定財源の名称		健康増進事業費		デジタル基盤改革支援補助金		-	
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		4	衛生費	10	需用費	309 千円	消耗品費234千円 燃料費5千円 賄材料費70千円	
項		項名称	12	委託料	8,533 千円	システム改修6,380千円 健康管理データバンクシステム保守645千円 システム保守245千円 健康づくり事業500千円 健康運動教室763千円		
1		保健衛生費	13	使用料及び賃借料	560 千円	健康管理データバンクシステム借上560千円		
目		目名称			千円			
2	予防費			千円				
事業の目的	生活習慣病の予防・改善、糖尿病重症化予防を図るため、「運動習慣」と「食習慣」の両面から町民の健康増進に繋がる事業を展開する。							
事業の概要	【健康運動教室】 ・健康運動指導士による指導・トレーニング及びデータ管理・集計・評価を実施。 ・長期コース（30回）と少人数プログラムの実施。 【減塩対策事業】 ・減塩料理教室・塩分摂取量調査の実施。 【健康フェスタ】 ・生活習慣病予防とフレイル予防を目的とした健康イベントの開催。							
事業の効果	生活習慣病の予防、疾病の重症化の予防、フレイル予防、職域連携の強化							
次年度以降の見込み	継続実施							

令和7年度「集団検診事業」の概要

創生・過疎

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	ほけん課		所管係名	保健係								
総合計画上の位置付け	目 標	1	健やかに暮らせるまちづくり		前年度	当初予算額	21,026 千円					
	政 策 名	1	いつまでも健康に暮らせるまち			補正額（12月補正まで）	55 千円					
	施 策 名	3	継続的な保健事業の推進			最終予算額	21,081 千円					
予 算 額	総事業費			特 定 財 源				一般財源				
	金 額	20,834 千円		国庫支出金	千円	県支出金	千円	地方債	千円	その他	1,609 千円	19,234 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	7.7 %	92.3 %			
	特定財源の名称							国保特会繰入金	-			
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細					
		4	衛生費	10	需用費	358 千円	消耗品費51千円 印刷製本費302千円 医療薬剤費5千円					
12				委託料	20,485 千円	電算処理業務485千円 健康診査等20,000千円						
項		項名称			千円							
1		保健衛生費			千円							
目	目名称			千円								
2	予防費			千円								
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> がん検診等各種検（健）診の集団検診・施設検診の実施体制の確保 効果的な受診勧奨の実施 											
事業の概要	<p>【集団検診】</p> <ul style="list-style-type: none"> 肺がん検診・結核検診・肺がん喀痰検査・胃がん（バリウム）検診・大腸がん検診・前立腺がん検診・乳がん検診・子宮頸がん検診・肝炎検査・骨粗しょう症検査・健康診査） <p>【施設検診】</p> <ul style="list-style-type: none"> 歯科健康診査・胃がん（内視鏡）検診・乳がん検診・子宮頸がん検診・脳ドック（社保） <p>【総合検診運営業務・検診予約コールセンター業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合健診当日の運営及び予約電話・ネット予約業務の委託 <p>【総合検診移動支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合検診会場までの交通手段が無い方としたタクシーによる移動支援事業。 											
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病等の早期発見・早期治療及び疾病の重症化予防 がんの早期発見・早期治療によるがんによる死亡率の減少 											
次年度以降の見込み	継続実施											

令和7年度「【国保特会】国保ヘルスアップ事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	ほけん課		所管係名	国保係				
総合計画上の位置付け	目 標	1	健やかに暮らせるまちづくり			前 年 度	当初予算額	10,018 千円
	政 策 名	1	いつまでも健康に暮らせるまち（保健）				補正額（12月補正まで）	0 千円
	施 策 名	1	地域医療連携の推進				最終予算額	10,018 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	9,337 千円	0 千円	9,311 千円	0 千円	0 千円	26 千円	
	構成比	100.0 %	0.0 %	99.7 %	0.0 %	0.0 %	0.3 %	
	特定財源の名称		○特別交付金 ・調整交付金				-	
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細		
	4	保健事業費	1	報酬	2,258 千円	保健事業推進員1名分		
			3	職員手当等	861 千円	保健事業推進員1名分（期末手当、勤勉手当）		
	項	項名称	4	共済費	201 千円	保健事業推進員1名分		
	1	保健事業費	7	報償費	168 千円	保健指導員報償		
			8	旅費	82 千円	保健事業推進員1名分（通勤手当）、保健指導員分通勤手当		
	目	目名称	10	需用費	106 千円	保健指導用パンフレット		
	1	疾病予防費	11	役務費	39 千円	受診勧奨郵便料（特定保健指導）		
			12	委託料	5,572 千円	特定健診未受診対策事業、健康運動教室、糖尿病性腎症重症化予防保健指導等		
13			使用料及び賃借料	50 千円	システム利用料			
事業の目的	国保被保険者を対象に特定健康診査、特定保健指導を実施し、国民健康保険医療費の抑制と生活習慣病や糖尿病性腎症の重症化予防を図る。また、健康運動教室により自らが健康状態を自覚して健康増進に取り組むよう支援をする。							
事業の概要	特定健診時の特定保健指導等に関する保健師等を配置。受診率向上対策、重複・頻回受診の指導、多剤併用服薬者指導、糖尿病性腎症重症化予防保健指導、健康運動教室等。							
事業の効果	特定健診受診率：R4年度51.0% R5年度56.9% R6年度見込43.8%（夏総合検診まで） メタボ該当者率：R4年度20.4%（56位）R5年度21.9%（44位）R6年度見込17.8%（47位） ※（ ）内は福島県内順位。R6年度は集計途中のため変動あり。							
次年度以降の見込み	継続実施							

令和7年度「社会福祉事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	福祉課		所管係名	社会福祉係								
総合計画上の位置付け	目 標	1	健やかに暮らせるまちづくり		前 年 度	当初予算額	13,310 千円					
	政 策 名	2	共に支えあい暮らせるまち（福祉）			補正額（12月補正まで）	0 千円					
	施 策 名	4	地域で支える福祉の推進			最終予算額	13,310 千円					
予 算 額	総事業費			特 定 財 源			一般財源					
	金 額	15,062 千円		国庫支出金	0 千円	県支出金	137 千円	地方債	0 千円	その他	406 千円	14,519 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	0.9 %	0.0 %	2.7 %	96.4 %				
	特定財源の名称			●民生委員推薦会 ●人権啓発活動			●ふれあい福祉基金利子			-		
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細					
		3	民生費	1	報酬	78 千円	民生委員推薦会					
			7	報償費	2,881 千円	協議会委員報償245千円、民生委員報償2,636千円						
	項	項名称	8	旅費	363 千円	協議会委員費用弁償352千円、会議・研修旅費等旅費11千円						
	1	社会福祉費	10	需用費	179 千円	消耗品10千円、国見町戦没者追悼式費用4千円、人権の花運動及び啓発活動110千円、福祉避難所55千円						
			12	委託料	1,748 千円	民生委員視察研修委託100千円、国見町戦没者追悼式費用648千円、要援護者避難支援プラン策定業務1,000千円						
	目	目名称	18	負担金補助及び交付金	9,378 千円	視察研修45千円、保護司会11千円、人権擁護委員協議会18千円、社会福祉協議会7,300千円、社会福祉協議会（事務局事業）1,320千円、婦人会384千円、中度難聴者補聴器購入補助金300千円						
	1	社会福祉総務費	19	扶助費	29 千円	行旅病人等旅費27千円、食糧費2千円						
			24	積立金	406 千円	ふれあい福祉基金積立金						
事業の目的	地域福祉に関する基盤を整備することで、人々が安心して生活できるようになる。											
事業の概要	①各種団体に係る事業推進及び補助の実施（民生児童委員、保健と福祉の地域づくり推進協議会、人権擁護委員、保護司、町社会福祉協議会、婦人会） ②行旅病人等旅費支給 ③戦没者追悼式 戦没者の追悼、平和祈念を目的に5年に1度開催 ④中等度難聴者補聴器購入費助成 身体障害者手帳の対象とならない18歳以上の聴力低下がある方に補聴器購入の一部を補助する											
事業の効果	人びとが安心して地域社会で生活できるようになる。											
次年度以降の見込み	継続実施											



令和7年度「障がい者福祉事業」の概要

所管課名	福祉課		所管係名	社会福祉係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。			
総合計画上の位置付け	目 標	1	健やかに暮らせるまちづくり		前 年 度	当初予算額	249,108 千円	
	政 策 名	2	共に支えあい暮らせるまち（福祉）			補正額（12月補正まで）	7,070 千円	
	施 策 名	3	障がい者の自立支援			最終予算額	256,178 千円	
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	290,319 千円		122,018 千円	70,381 千円	千円	2,750 千円	95,170 千円
	構成比	100.0 %		42.0 %	24.2 %	0.0 %	0.9 %	32.8 %
	特定財源の名称			<ul style="list-style-type: none"> ●更生医療 ●障がい者自立支援 ●育成医療 ●地域生活支援 	<ul style="list-style-type: none"> ●障がい者自立支援 ●重度心身障がい者医療費 ●地域生活支援1,933 ●軽度・中等度難聴児補聴器 ●自殺対策強化交付金 		●重度医療高額分	-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		3	民生費	7	報償費	480 千円	障がい者支援区分認定審査会委員報償360千円、講師報償（こころの健康づくり講座30千円、サポーター養成講座30千円、つながりカフェ60千円）	
8				旅費	23 千円	障がい者支援区分認定審査会委員交通費6千円、講師交通費10千円、会議・調査旅費7千円		
1		社会福祉費	10	需用費	164 千円	消耗品費46千円、座談会30千円、窓あき封筒88千円		
			11	役務費	731 千円	回線使用料7千円、主治医意見書作成料94千円、国保連事務手数料224千円、成年後見制度利用支援事業406千円		
目		目名称	12	委託料	6,449 千円	システム改修業務885千円、相談支援事業1,148千円、重度心身障がい者医療費事務委託318千円、調査集計分析業務1,980千円、基幹相談支援センター運営1,850千円、障がい者虐待防止事務250千円、点字・声の広報発行事業18千円		
			18	負担金補助及び交付金	174 千円	県心身障がい者スポーツ協会6千円、手をつなぐ親の会33千円、町心身障がい者福祉会75千円、自発的活動支援事業60千円		
3	障がい者福祉費	19	扶助費	282,297 千円	重度心身障がい者医療費30,000千円、介護給付費105,197千円、訓練給付費128,364千円、地域生活支援事業5,907千円ほか			
		22	償還金利子及び割引料	1 千円	前年度重度障がい者支援事業補助精算による償還金			
事業の目的	障がいのある方が、安心して自立した生活を送ることができるよう、各種障がい福祉サービスの提供や助成を行う。							
事業の概要	障がい者総合支援法に基づく福祉サービスの提供、医療費等の給付（重度心身障がい者医療費、人工透析患者通院費、在宅重度障がい者対策事業、更生医療給付費、補装具給付費、福祉タクシー助成事業、介護給付費、訓練給付費、地域生活支援事業、障がい者通所交通費助成事業、在宅酸素濃縮器利用助成事業、計画相談支援給付費、育成医療給付費、軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業） 手帳所持者（身体 290人、精神 68人、療育 87人）※R7.1.31現在							
事業の効果	障がい者の日常生活を支援することで、地域社会において安心して生活を送ることができるようになる。							
次年度以降の見込み	継続実施							

令和7年度「老人福祉事業」の概要

創生・過疎

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	福祉課	所管係名	長寿介護係					
総合計画上の 位置付け	目 標	1	健やかに暮らせるまちづくり	前 年 度	当初予算額	19,838 千円		
	政 策 名	2	共に支えあい暮らせるまち		補正額（12月補正まで）	1,160 千円		
	施 策 名	1	高齢者の日常生活支援		最終予算額	20,998 千円		
予 算 額	総事業費			特 定 財 源				
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	金 額	23,811 千円		252 千円	499 千円	9,000 千円	1,048 千円	13,012 千円
	構成比	100.0 %		1.1 %	2.1 %	37.8 %	4.4 %	54.6 %
	特定財源の名称			●高齢者にやさしい住まいづくり事業（社総金）	●老人クラブ活動等社会活動促進事業 ●低所得者利用料軽減補助事業	●高齢者生きがいがづくり事業債	●生きがいデイサービス等利用者負担分	-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		3	民生費	7	報償費	36 千円	講師謝礼	
				8	旅費	45 千円	デイサービスセンター指定管理者候補者選定委員会36、高齢者虐待防止事業9	
		項	項名称	10	需用費	18 千円	消耗品	
		1	社会福祉費	12	委託料	21,056 千円	生きがいデイ6,428(社協4,358、給食990、外出支援(送迎)1,080)、配食サービス3,825、緊急通報3,373、いきいきサロン4,299、除雪支援233、生活支援ショート27、計画策定業務2,871	
18					負担金補助及び交付金	2,085 千円	老人クラブ1,262、高齢者住まい720、低所得者法人利用負担軽減103	
1	社会福祉総務費	19	扶助費	571 千円	日常生活用具給付171、高齢者運転免許返納(タクシー券)400			
					千円			
事業の目的	在宅の高齢者に対し各種のサービスを提供することによって、高齢者の生きがいがづくりや心身機能の維持向上等を図り、健康でいきいきと日常生活を営むことができるよう支援することを目的とする。							
事業の概要	高齢者の閉じこもり解消や生きがいがづくり活動として「いきいきサロン交流事業」や「生きがい活動支援通所(デイサービス)事業」を行うほか、「高齢者配食サービス事業」、「緊急通報システム運営事業」等の高齢者の生活支援事業を行う。							
事業の効果	【いきいきサロン】 町内23か所で月1回開催 令和6年12月実績 月延べ参加者157人 協力者49人 【生きがいデイ】 令和6年12月末で44人が登録し、月3回のデイサービスを利用 令和6年12月実績 月延べ利用人数 121人 1日平均 8.5人							
次年度以降の見込み	継続実施							



令和7年度「敬老事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	福祉課		所管係名	長寿介護係			
総合計画上の位置付け	目 標	1	健やかに暮らせるまちづくり		前 年 度	当初予算額	5,750 千円
	政 策 名	2	共に支えあい暮らせるまち			補正額(12月補正まで)	0 千円
	施 策 名	1	高齢者の日常生活支援			最終予算額	5,750 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	6,249 千円	千円	千円	千円	千円	6,249 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
	特定財源の名称						-
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
	3	民生費	7	報償費	4,950 千円	敬老祝金2,150、敬老会町記念品2,800	
			10	需用費	650 千円	式典費(手土産)331(お茶)85、印刷製本(しおり)135、消耗品99	
	項	項名称	12	委託料	550 千円	アトラクション等	
	1	社会福祉費	13	使用料及び賃借料	99 千円	敬老会送迎バス(小坂・大木戸・石母田)	
						千円	
目	目名称				千円		
2	老人福祉費				千円		
					千円		
事業の目的	多年にわたって社会に貢献してきた高齢者を敬愛し、長寿を祝うとともに高齢者が健康を守り、生きる意欲を高め、健康で生きがいのある社会が築かれるよう敬老会を開催するとともに、敬老祝金を支給する。						
事業の概要	75歳以上の高齢者を対象に町内3か所で敬老会（式典及びアトラクション）を開催。小坂地区、石母田地区、大木戸地区は会場へのバス送迎をする。敬老祝金は90歳10,000円、99歳50,000円、100歳200,000円（施設入所者50,000円）支給。						
事業の効果	敬老会を通して、高齢者が地域の人から祝福され、新たな生きがいを見出し、生きる意欲につなげることができる。 令和6年度敬老会 対象者2,027人 出席者246人（出席率12.1%）						
次年度以降の見込み	敬老会…継続実施 敬老祝金…継続実施						



令和7年度「高齢者福祉施設（デイサービスセンター）事業」の概要

所管課名	福祉課		所管係名	長寿介護係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。							
総合計画上の位置付け	目 標	1	健やかに暮らせるまちづくり		前 年 度	当初予算額	12,133 千円					
	政 策 名	2	共に支えあい暮らせるまち			補正額（12月補正まで）	1,630 千円					
	施 策 名	2	介護予防・支援の推進			最終予算額	13,763 千円					
予 算 額	総事業費			特 定 財 源				一般財源				
	金 額	13,316 千円		国庫支出金	千円	県支出金	千円	地方債	400 千円	その他	10,400 千円	2,516 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	3.0 %	78.1 %	18.9 %	●デイサービスセンター 事業収入			-
	特定財源の名称											
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細					
3		民生費	10	需用費	10,820 千円	燃料費2,280、光熱水費8,040、修繕費500						
			11	役務費	302 千円	手数料270、建物災害共済保険料32						
1		社会福祉費	12	委託料	2,194 千円	危険物(地下灯油タンク)保守点検110、消防設備点検55、空調設備保守点検1,197、 自家用電気工作物保守点検81、夜間警備81、鼠族・衛生害虫防除管理51、除草38 特定建築物定期検査125、設計委託（LED化改修）456						
						目	目名称	千円				
1		社会福祉総務費				千円						
					千円							
事業の目的	通所介護事業を行う国見町デイサービスセンターの維持管理に関する事業。 燃料費、光熱水費、建物火災共済、各種保守管理委託等について予算措置するもの。											
事業の概要	国見町デイサービスセンターの維持管理を指定管理者である国見町社会福祉協議会が行っている。同施設の維持管理費を町が一旦負担し、年度末に国見町社会福祉協議会の事業収入から戻し入れする（10万円以上の経年劣化に伴う施設修繕については町負担）。											
事業の効果	令和6年12月の利用者数(延べ人数) 478人（一般型300人、認知症型96人、総合事業型82人）、1日当たり利用者数は19.9人											
次年度以降の見込み	継続実施。 ・指定管理者 社会福祉法人国見町社会福祉協議会 ・指定期間 令和4年4月1日～令和9年3月31日											



令和7年度「介護保険特別会計（地域支援事業）」の概要

所管課名	福祉課		所管係名	長寿介護係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。							
総合計画上の位置付け	目 標	1	健やかに暮らせるまちづくり		前年度	当初予算額	70,948 千円					
	政 策 名	2	共に支えあい暮らせるまち			補正額（12月補正まで）	0 千円					
	施 策 名	2	介護予防・支援の推進			最終予算額	70,948 千円					
予 算 額	総事業費			特 定 財 源				一般財源				
	金 額	66,821 千円		国庫支出金	23,550 千円	県支出金	10,859 千円	地方債	千円	その他	21,895 千円	10,517 千円
	構成比	100.0 %		35.2 %	16.3 %	0.0 %	32.8 %	15.7 %				
	特定財源の名称			●介護予防・日常生活支援総合事業 ●介護保険保険者努力支援交付金 ●保険者機能強化推進交付金	●介護予防・日常生活支援総合事業			●支払基金交付金 ●介護保険料	●繰入金(一般会計)			
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細					
予 算 額	4	地域支援事業費	2,3,4,18	給料、職員手当、共済費等	5,318 千円	介護予防事業会計年度任用職員(給料2,842、職員手当1,200、共済費886、退職手当組合負担金390)						
			7	報償費	830 千円	介護予防事業講師謝礼510、地域ケア会議助言者150、リハビリ専門職等講師派遣120、家族介護教室20、成年後見制度勉強会30						
	1	地域支援事業費	8	旅費	38 千円	認知症初期集中支援チーム研修旅費						
			10	需用費	351 千円	介護予防事業等消耗品185、会議費(ささえ愛)18、認知症サポーター養成講座等消耗品95、印刷製本費53						
	1.2	1:介護予防・生活支援サービス事業費	11	役務費	598 千円	郵便料137、リハビリ・骨粗派遣手数料160、介護予防サポーター損害保険77、成年後見120、審査支払手数料104						
			12	委託料	33,629 千円	地域包括支援センター16,393、包括システム保守582、認知症地域支援推進員4,943、生活支援コーディネーター6,238						
	3.4	2:一般介護予防事業	13	使用料及び賃借料	338 千円	健康運動指導士258、配食サービス2,880、認知症支援チーム607、QRコード77、在宅医療介護支援センター1,651						
			18	負担金補助及び交付金	23,095 千円	介護予防サービス費(総合事業)22,630、成年後見人336、認知症支援チーム研修50、在宅医療・介護連携支援センター79						
	19	扶助費	2,624 千円	紙おむつ給付2,508、介護者慰労金100、徘徊高齢者GPS16								
事業の目的	被保険者が要介護状態または要支援状態となることを予防し、日常生活において必要なサービス等を行うことで、高齢者が社会に参加しつつ、地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援する。											
事業の概要	地域包括支援センターを設置し、様々な相談に応じ必要な支援を行うほか、「通いの場」等の介護予防事業や認知症支援事業等を行う。また、生活支援コーディネーターを配置し「くのみささえ愛」事業など高齢者を地域で支えあう仕組みづくりを行う。伊達地方在宅医療・介護連携支援センター設置をして（伊達医師会委託）在宅医療と介護が一体的に提供される体制の構築を目指した取組を行う。											
事業の効果	①地域包括支援センター（令和6年12月末累計） 介護予防支援事業・総合事業 契約者数829人、総合相談件数427人 ②通いの場 19カ所(自主化) ③居場所 5カ所 ④生活支援コーディネーター1人社協に配置⑤令和6年10月に伊達地方在宅医療・介護連携支援センターを開設し、令和6年12月末時点で20件の相談に対応している。											
次年度以降の見込み	継続実施											



令和7年度「町内若者交流会」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	福祉課		所管係名	社会福祉係			
総合計画上の位置付け	目 標	6	町として生きるまちづくり		前年度	当初予算額	2,369 千円
	政 策 名	2	人が集まりまた来たくなるまち			補正額（12月補正まで）	(1,510) 千円
	施 策 名	2	移住定住と関係人口創出			最終予算額	859 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	2,354 千円	0 千円	900 千円	0 千円	0 千円	1,454 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	38.2 %	0.0 %	0.0 %	61.8 %
	特定財源の名称						-
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
	3	民生費	7	報償費	40 千円	世話やき人謝礼40千円	
			18	負担金補助及び交付金	2,314 千円	福島圏域移住定住促進協議会負担金24千円、はび福なび会員登録補助20千円	
	項	項名称			千円	交流イベント参加費補助20千円、結婚新生活支援事業補助金2,250千円	
	1	社会福祉費			千円		
					千円		
目	目名称			千円			
1	社会福祉総務費			千円			
				千円			
事業の目的	結婚世話やき人制度や、はび福なびを活用し、結婚したい独身男女の出会い・交流の機会を創出することにより町内外の若者の交流活性化を促す。また、経済的な理由で結婚に踏み出せない方の結婚生活費用を支援し、結婚を望む人が結婚できる環境を整える。						
事業の概要	①世話やき人制度：結婚に関する相談対応や無料相談会の実施により結婚したい男女の出会いをサポートする ②はび福なび会員登録料補助・移住定住協議会開催イベント補助：県が実施するはび福なびマッチングサイトへの登録料や交流イベント参加料を補助することにより、独身男女の出会いの機会を後押しする ③結婚新生活支援事業補助：低所得の新婚世帯に対し、住居費等の一部を補助する						
事業の効果	独身男女の出会い交流機会の提供や、結婚に踏み出せない方の経済的な支援を行うことで結婚を希望する人が結婚でき町への交流人口・定住人口の増加が図られる。						
次年度以降の見込み	R7年度の実績により事業内容を再検討する						



令和7年度「児童福祉事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	福祉課		所管係名	社会福祉係、子育て支援係									
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり			前年度	当初予算額	128,768 千円					
	政 策 名	1	安心して子どもを産み育てられるまち（子育て）				補正額（12月補正まで）	23,271 千円					
	施 策 名	1	子育て支援の推進				最終予算額	152,039 千円					
予 算 額			総事業費		特 定 財 源				一般財源				
	金 額		185,530 千円		国庫支出金	126,028 千円	県支出金	29,580 千円	地方債	0 千円	その他	0 千円	29,922 千円
	構 成 比		100.0 %		67.9 %	15.9 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	16.1 %			
	特定財源の名称			<ul style="list-style-type: none"> ●児童手当交付金 ●障害児施設措置 ●特別児童扶養手当 ●子ども・子育て支援交付金 		<ul style="list-style-type: none"> ●児童手当負担金 ●障害児施設措置 ●ひとり親家庭医療費 ●子ども・子育て支援交付金 				-			
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細						
		3	民生費	10	需用費	122 千円	窓あき封筒印刷費						
				11	役務費	84 千円	国保連事務手数料						
		2	児童福祉費	12	委託料	584 千円	子育て世帯訪問支援事業						
				19	扶助費	184,740 千円	就学遺児激励金180千円、ひとり親家庭医療費助成1,560千円、児童手当112,200千円						
						千円	障害児通所給付費68,400千円、障害児計画相談支援給付費2,400千円						
					千円								
				千円									
事業の目的	各種児童福祉サービスの提供、手当の支給、医療費助成等を行うことにより、子どもが安心して健全な生活を送ることができるよう支援する。												
事業の概要	①就学遺児激励金 ひとり親家庭の児童に対し、図書カード3,000円を支給 ②ひとり親家庭医療費助成 ひとり親家庭に対し、月1,000円を超えた医療費を助成 ③児童手当 18歳までの児童を養育する保護者へ、所得に応じ手当を支給 ④障害児通所給付費及び計画相談 療育を必要とする保護者へ、所得に応じ手当を支給 ⑤子育て世帯訪問支援事業 家事育児等に不安を持つ子育て世帯・妊産婦・ヤングケアラー等の家庭に支援員が訪問し、家事育児等の支援を行う												
事業の効果	子どもの日常生活や家庭を支援することで、地域社会において安心した生活を送ることができるようになる。												
次年度以降の見込み	継続実施												

令和7年度「児童健全育成事業」の概要（福祉課分）

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	福祉課		所管係名	子育て支援係					
総合計画上の 位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり			前 年 度	当初予算額	3,192 千円	
	政 策 名	1	安心して子どもを産み育てられるまち				補正額（12月補正まで）	(93) 千円	
	施 策 名	1	子育て支援の推進				最終予算額	3,099 千円	
	総事業費		特 定 財 源				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他			
	金 額	378 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	378 千円		
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %		
特定財源の名称							-		
予 算 額	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細		
		3	民生費	7	報償費	62 千円	子ども子育て支援推進協議会委員報償		
				8	旅費	76 千円	子ども子育て支援推進協議会委員費用弁償等		
		項	項名称	13	使用料及び賃借料	240 千円	子育て支援アプリライセンス使用料		
		2	児童福祉費						
		目	目名称						
		3	児童健全育成費						
事業の目的	各種の子育て支援事業を展開し、子育て中の家庭を支援するため、子ども・子育て支援事業計画に基づく事業の進捗管理を行う。								
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども・子育て支援推進協議会による各種事業の進捗管理 ・ 子育て支援アプリの運用 								
事業の効果	様々な事業を展開し、子育てを支援することで、子どもたちの健やかな成長の一助となる。								
次年度以降の見込み	継続実施								



令和7年度「母子保健事業」の概要

創生・過疎

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	福祉課	所管係名	子育て支援係		前年度	当初予算額	18,327 千円	
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり			補正額 (12月補正まで)	1,587 千円	
	政 策 名	1	安心して子どもを産み育てられるまち			最終予算額	19,914 千円	
	施 策 名	1	子育て支援の推進					
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
	金 額	27,717 千円		国庫支出金 4,961 千円	県支出金 763 千円	地方債 0 千円	その他 0 千円	21,993 千円
	構成比	100.0 %		17.9 %	2.8 %	0.0 %	0.0 %	79.3 %
	特定財源の名称			<ul style="list-style-type: none"> ●母子保健衛生費国庫補助金 ●出産・子育て交付金 ●妊婦のための支援給付交付金 ●妊婦のための支援給付費補助金 ●子ども・子育て支援交付金 ●養育医療給付費 	<ul style="list-style-type: none"> ●養育医療給付費 ●出産・子育て交付金 ●妊婦にやさしい遠方出産支援補助金 ●子育て支援対策臨時特例交付金 ●地域の子ども・子育て支援事業交付金 	<ul style="list-style-type: none"> ●新生児誕生祝金事業債 	-	
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		4	衛生費	2	給料	7,656 千円	会計年度任用職員（助産師・子ども家庭支援員・産休代替）給料	
				3	職員手当等	3,166 千円	会計年度任用職員通勤手当125、超過勤務手当40、期末手当1,660、勤勉手当1,341	
		項	項名称	4	共済費	1,922 千円	会計年度任用職員（助産師・子ども家庭支援員・産休代替）共済組合	
				7	報償費	1,098 千円	乳幼児健診報償919、謝礼179	
		1	保健衛生費	8	旅費	67 千円	講師等費用弁償59、職員旅費8	
10				需用費	818 千円	消耗品費626（新生児オムツ、母子手帳、乳幼児健診関係）、印刷製本費192（妊婦健診等受診票）		
1		保健衛生総務費	11	役務費	516 千円	乳幼児健診476、審査支払（妊婦・新生児）40		
			12	委託料	6,785 千円	システム改修630（妊婦のための支援給付）、乳幼児健康診査等292、妊婦健診4,429、産後ケア1,153、新生児聴覚検査281		
	18		負担金補助及び交付金	4,750 千円	すくすくももさば祝金（新生児誕生祝金）1,500、出産・子育て祝金250、妊婦のための支援給付3,000			
	19		扶助費	939 千円	妊婦健診149、養育医療350、新生児聴覚検査9、特定不妊治療費助成300、乳幼児健診30、妊婦にやさしい遠方出産支援101			
事業の目的	切れ目のない一貫した母子保健事業の実施により、健やかな子どもの成長を支援する。							
事業の概要	①母子健康手帳交付(妊婦届受付) ②妊婦健康診査(妊婦16回分+産後2回公費負担) ③乳幼児健診・相談等(乳児股関節健診、1ヶ月児健診、3・9ヶ月児健診、1歳6ヶ月児健診、2歳児相談会、3歳6ヶ月児健診、5歳児健診等) ④養育医療給付事業(未熟児の入院医療費公費助成) ⑤産後ケア事業(宿泊・日帰り・訪問) ⑥子ども家庭総合支援拠点事業 ⑦不妊治療助成事業 ⑧ピアサポート事業(ママカフェ・パパカフェ)							
事業の効果	①母子の一貫した健康管理。②健やかな妊娠・出産につながる。③乳幼児の心身の健康管理、育児支援。④未熟児（2,000g以下等）の健全な発育。⑤産婦・乳児への母乳育児支援、心身のケア。⑥子どもと家庭支援全般に係る相談支援・実情の把握等。⑦不妊治療を行う夫婦の経済的負担の軽減を図る。⑧同じような状況にある親子の孤立感の軽減。							
次年度以降の見込み	継続実施							

令和7年度「農業経営基盤強化促進事業」の概要

所管課名	産業振興課		所管係名	農林振興係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。			
総合計画上の位置付け	目 標	4	恵まれた資源を活かしたまちづくり		前年度	当初予算額	35,621 千円	
	政 策 名	1	おいしい農産物のあるまち			補正額（12月補正まで）	0 千円	
	施 策 名	2	担い手の育成と経営支援			最終予算額	35,621 千円	
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	39,456 千円		0 千円	5,700 千円	0 千円	30,300 千円	3,456 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	14.4 %	0.0 %	76.8 %	8.8 %
	特定財源の名称			●新規就農者育成総合対策事業		●特別交付税		-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		6	農林水産業費	12	委託料	30,300 千円	地域おこし協力隊・業務委託+活動費（6人）28,800 募集業務1,500	
				18	負担金補助及び交付金	456 千円	くにも農業ビジネス訓練所長期研修生家賃補助金（1人）	
		1	農業費	18	負担金補助及び交付金	500 千円	地域を支える新たな農業者等確保支援補助金（就農相談、担い手育成）	
				18	負担金補助及び交付金	5,700 千円	新規就農者育成総合対策補助金（年間150万円×3人、120万円×1人）	
3		農業振興費	18	負担金補助及び交付金	100 千円	認定農業者支援補助金（認定農業者会）		
	20		貸付金	2,400 千円	経営開始支援資金（100万円×1人、70万円×2人）			
事業の目的	●「新規就農者」及び「認定農業者」の確保・育成を図る。							
事業の概要	①新規就農希望者の確保（訓練所⇒野菜、地域おこし協力隊⇒果樹） ②青年等就農計画作成に向けた支援 ③認定新規就農後の支援 ④認定農業者の確保							
事業の効果	●町の継続的な支援により、新規就農者の定着と担い手の確保が図られる。							
次年度以降の見込み	●継続							



令和7年度「農業振興事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	産業振興課		所管係名	農林振興係			
総合計画上の位置付け	目 標	4	恵まれた資源を活かしたまちづくり		前 年 度	当初予算額	28,222 千円
	政 策 名	1	おいしい農産物のあるまち			補正額（12月補正まで）	16,634 千円
	施 策 名	2	担い手の育成と経営支援			最終予算額	44,856 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	44,663 千円	251 千円	33,900 千円	0 千円	10,200 千円	312 千円
	構成比	100.0 %	0.6 %	75.9 %	0.0 %	22.8 %	0.7 %
	特定財源の名称		●小規模事業者支援推進事業	●遊休農地再生500 ●営農再開支援33,400		●ふるさと振興基金繰入	-
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
	6	農林水産業費	18	負担金補助及び交付金	30 千円	J Aふくしま未来生活教室開設補助金（団体育成補助）	
			18	負担金補助及び交付金	800 千円	収入保険支援補助金（収入保険料の一部補助）	
			18	負担金補助及び交付金	3,000 千円	果樹産地育成対策補助金（もも穿孔細菌病防除費の一部補助）	
	項	項名称	18	負担金補助及び交付金	500 千円	耕作放棄地再生支援補助金（遊休農地解消50a）	
	1	農業費	18	負担金補助及び交付金	33,400 千円	福島県営農再開支援補助金（果樹改植10ha）	
			18	負担金補助及び交付金	3,500 千円	農業機械導入支援補助金（補助率1/10、上限500千円）	
			18	負担金補助及び交付金	100 千円	青色申告支援補助金（4人）	
	目	目名称	18	負担金補助及び交付金	1,200 千円	減農薬栽培技術対策補助金（性フェロモン剤による減農薬で環境配慮）	
	3	農業振興費	18	負担金補助及び交付金	30 千円	伊達果実研究会支援補助金（団体育成補助）	
			18	負担金補助及び交付金	100 千円	農業法人設立支援補助金（法人設立時に発生する税負担の一部補助）	
			18	負担金補助及び交付金	503 千円	免許取得支援補助金（大特、けん引免許、フォークリフト免許取得）	
			18	負担金補助及び交付金	1,200 千円	【新規】水田病害虫防除補助金（カメムシ防除費の一部補助）	
			18	負担金補助及び交付金	300 千円	【新規】農地渇水・高温対策補助金（井戸掘削等の一部補助）	
	事業の目的	●国見町の基幹産業である農業の振興を図る。				 	
事業の概要	●農業振興に向け、財源を確保しつつ、さまざまな支援策を実施						
事業の効果	●適格な支援制度を行うことで、持続可能な営農に向けた環境整備が図られる。						
次年度以降の見込み	●継続						

令和7年度「有害鳥獣対策事業」の概要

所管課名	産業振興課		所管係名	農林振興係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。						
総合計画上の位置付け	目 標	4	恵まれた資源を生かしたまちづくり		前 年 度	当初予算額	19,531 千円				
	政 策 名	1	おいしい農産物のあるまち			補正額（12月補正まで）	500 千円				
	施 策 名	1	農業生産基盤の整備充実			最終予算額	20,031 千円				
予 算 額	総事業費		特 定 財 源			一般財源					
	金 額	22,835 千円	国庫支出金	0 千円	県支出金	8,500 千円	地方債	0 千円	その他	11,628 千円	2,707 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	37.2 %	0.0 %	50.9 %	11.9 %				
	特定財源の名称		●野生鳥獣被害防止地域づくり事業			●特別交付税10,828 ●JA・伊達果負担金200 ●実施隊動員費600		-			
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細				
予 算 額	6	農林水産業費	1	報酬	2,104 千円	鳥獣被害対策実施隊（非常勤職員）報酬					
			8	旅費	13 千円	普通旅費					
	1	農業費	10	需用費	704 千円	追払い花火・銃弾代・捕獲エサ代等654、箱わな修繕料50					
			11	役務費	942 千円	檻監視カメラ・ほかパト通信料120、止め刺し処分・捕獲わな免許登録手数料822					
	3	農業振興費	12	委託料	4,150 千円	誘因物撤去業務委託4,000、捕獲射撃訓練100、有害鳥獣腐乱処理50					
			15	原材料費	5,000 千円	侵入防止柵資材					
	18	負担金補助及び交付金	18	負担金補助及び交付金	310 千円	負担金（非常勤公務災害補償4、南奥羽協議会負担金306）					
			18	負担金補助及び交付金	9,612 千円	補助金（電気柵1,475、免許取得512、再生協7,625）					
事業の目的	●野生鳥獣による被害防止対策の充実・強化を図るとともに、関係機関と連携した総合的な被害防止体系を確立し、農作物被害の軽減等を図る。					 					
事業の概要	①鳥獣被害対策実施隊経費（報酬・止め刺し手数料） ②花火・銃弾購入 ③電気柵設置補助 ④アドバイザー委託 ⑤侵入防止柵維持管理補助 ⑥侵入防止柵修繕資材配付 ⑦被害防止に向けた地域づくり支援補助										
事業の効果	●被害防止対策の事業展開により、農作物被害の軽減が図られる。 ●野生鳥獣被害を防止し、農業者の営農意欲衰退を防止する。										
次年度以降の見込み	●継続（国見町鳥獣被害対策実施隊の活動と合わせ、地域ぐるみで鳥獣被害防止対策を推進）										

令和7年度「町産農産物PR事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	産業振興課		所管係名	農林振興係							
総合計画上の位置付け	目 標	4	恵まれた自然を活かしたまちづくり			前年度	当初予算額	5,187 千円			
	政 策 名	1	おいしい農産物のあるまち				補正額 (12月補正まで)	0 千円			
	施 策 名	3	ブランド開発と販路拡大				最終予算額	5,187 千円			
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源				
	金 額	5,568 千円	国庫支出金	2,793 千円	県支出金	0 千円	地方債	0 千円	その他	2,775 千円	0 千円
	構成比	100.0 %		50.2 %		0.0 %		0.0 %		49.8 %	0.0 %
	特定財源の名称		●福島再生加速化交付金 (地域魅力向上)					●震災復興特別交付税		-	
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細				
6		農林水産業費	7	報償費	158 千円	ミスピーチキャンペーンクルー等への謝礼					
			8	旅費	1,243 千円	特別旅費					
項		項名称	10	需用費	392 千円	消耗品、燃料費、印刷製本費、賄材料費					
1		農業費	11	役務費	679 千円	宅配料、広告料、傷害保険					
			12	委託料	2,849 千円	くにみ物産展業務					
目		目名称	13	使用料及び賃借料	247 千円	レンタカー、高速料金、駐車料金					
3	農業振興費			千円							
				千円							
事業の目的	●町農産物を県外で積極的にPRし、風評被害の払拭と販売力の強化を促進する。										
事業の概要	①交流町でPR販売（北海道ニセコ町、岩手県平泉町、栃木県茂木町、岐阜県池田町） ②首都圏等でPR販売（歌舞伎座くにみ物産展、宮城県仙台市、石巻市）										
事業の効果	●町農産物の安全安心を対面販売でPRすることにより、品質の高さ、美味しさが広く知れ渡り、販路拡大が図られる。										
次年度以降の見込み	●継続										

令和7年度「くにみ農業ビジネス訓練所事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	産業振興課		所管係名	農林振興係				
総合計画上の位置付け	目 標	4	恵まれた資源を活かしたまちづくり		前 年 度	当初予算額	26,144 千円	
	政 策 名	1	おいしい農産物のあるまち			補正額（12月補正まで）	3,292 千円	
	施 策 名	2	担い手の育成と経営支援			最終予算額	29,436 千円	
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	30,995 千円	0 千円	1,000 千円	0 千円	8,000 千円	21,995 千円	
	構成比	100.0 %	0.0 %	3.2 %	0.0 %	25.8 %	71.0 %	
	特定財源の名称		●サポート体制構築事業			●ふるさと振興基金3,000 ●農産物販売5,000		-
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細		
	6	農林水産業費	1,2,3,4	報酬、給料、職員手当等、共済費	21,845 千円	会計年度任用職員5名（報酬4,497、給料8,362、職員手当等5,942、共済3,044）		
			7	報償費	180 千円	短期研修講師謝礼		
	1	農業費	8	旅費	226 千円	短期研修講師交通費99、普通旅費6、会計年度任用職員通勤手当121		
			10	需用費	5,846 千円	消耗品費2,812、燃料費1,567、光熱水費1,167、修繕料300		
	4	農業ビジネス 訓練所費	11	役務費	487 千円	電話料135、各種検査218、建物共済80、自動車共済54		
			12	委託料	1,974 千円	浄化槽管理61、施設警備342、農作業業務1,471、販売管理100		
	4	農業ビジネス 訓練所費	13	使用料及び賃借料	237 千円	テレビ受信料12、電子図書館212、コピー機借上料13		
14			工事請負費	200 千円	農場内整備			
事業の目的	●新規就農促進、担い手育成、農業技術の向上、町の風土に合った野菜の少量多品目栽培体系の確立、野菜のブランド化を図る。							
事業の概要	①年間を通じて「長期研修」「短期研修」「体験研修」を実施 ②農場で野菜の多品目栽培、養液栽培用鉄骨ハウスでミニトマトを栽培							
事業の効果	●令和6年度は長期研修生2人、地域おこし協力隊2人を受け入れ、協力隊2人は国見町に移住して新規就農を予定しているなど、くにみ農業ビジネス訓練所を核とした移住定住が図られている。また、短期研修についても農業者の知識習得の場になっている。							
次年度以降の見込み	●継続（野菜だけでなく、果樹でも地域おこし協力隊制度を活用し、国見町への移住定住による新規就農者を確保）							



令和7年度「多面的機能支払交付金事業」の概要

所管課名	産業振興課		所管係名	農林振興係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。		
総合計画上の位置付け	目 標	4	恵まれた資源を生かしたまちづくり		前 年 度	当初予算額	20,085 千円
	政 策 名	1	おいしい農産物のあるまち			補正額（12月補正まで）	80 千円
	施 策 名	1	農業生産基盤の整備充実			最終予算額	20,165 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	20,115 千円	0 千円	15,148 千円	0 千円	0 千円	4,967 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	75.3 %	0.0 %	0.0 %	24.7 %
	特定財源の名称		●多面的交付金14,898 ●多面的推進交付金250				-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
6		農林水産業費	8	旅費	3 千円	普通旅費	
			10	需用費	113 千円	消耗品費	
項		項名称	18	負担金補助及び交付金	19,865 千円	多面的機能支払交付金事業補助金（広域組織/国見町環境保全会450.4ha）	
1		農業費	12	役務費	34 千円	郵便料 ※2-1-2総務課配当	
			13	使用料及び賃借料	100 千円	コピー機借上料 ※2-1-2総務課配当	
目		目名称			千円		
6	農地費			千円			
				千円			
事業の目的	●農地の多面的機能を維持するための共同活動を支援する。						
事業の概要	①多面的機能を維持し、耕作放棄地の発生を防止 ②担い手農家だけでなく、非農家も含めた農地の維持管理体制の構築						
事業の効果	●担い手農家のみならず、非農家も含めた地域全体での維持管理体制が構築されることで、耕作放棄地の発生防止が図られる。						
次年度以降の見込み	●継続（未組織エリアの加入推進）						



令和7年度「中山間地域等直接支払事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	産業振興課		所管係名	農林振興係			
総合計画上の 位置付け	目 標	4	恵まれた自然を活かしたまちづくり		前 年 度	当初予算額	15,735 千円
	政 策 名	1	おいしい農産物のあるまち			補正額（12月補正まで）	0 千円
	施 策 名	1	農業生産基盤の整備充実			最終予算額	15,735 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	16,024 千円	0 千円	12,027 千円	0 千円	0 千円	3,997 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	75.1 %	0.0 %	0.0 %	24.9 %
	特定財源の名称		●中山間事業費11,986 ●中山間事務費41				-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
6		農林水産業費	8	旅費	3 千円	普通旅費	
			18	負担金補助及び交付金	15,983 千円	中山間地域直接支払事業補助金（9集落）	
項		項名称			千円	⇒内谷山越、内谷清上、内谷桐目木、鳥取沼田、貝田・山根、小坂、石母田、高城、石母田東	
1		農業費	11	役務費	2 千円	郵便料 ※2-1-2総務課配当	
			13	使用料及び賃借料	36 千円	コピー機借上料 ※2-1-2総務課配当	
目	目名称			千円			
6	農地費			千円			
事業の目的	●耕作放棄地の増加により、水田などの多面的機能が低下することが懸念される中山間地域等において、農業生産の維持を図りつつ、多面的機能を維持する観点から、直接支払いを実施する。						
事業の概要	①農業生産条件の不利な中山間地域等で農用地を維持・管理するための協定を締結 ②協定に基づく農業生産活動等を行う場合、面積に応じて一定額を交付						
事業の効果	●耕作放棄地の発生防止とともに農地の多面的機能が確保される。						
次年度以降の見込み	●継続						



令和7年度「林業振興事業」の概要

所管課名	産業振興課		所管係名	農林振興係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。		
総合計画上の位置付け	目 標	4	恵まれた自然を活かしたまちづくり		前 年 度	当初予算額	45,280 千円
	政 策 名	1	おいしい農産物のあるまち			補正額（12月補正まで）	0 千円
	施 策 名	1	農業生産基盤の整備充実			最終予算額	45,280 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	33,689 千円	0 千円	24,224 千円	0 千円	8,236 千円	1,229 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	71.9 %	0.0 %	24.4 %	3.6 %
	特定財源の名称			●ふくしま再生22,932 ●森林環境交付金1,292		●震災復興特交8,232 ●森林環境税利子4	-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
		6	農林水産業費	8	旅費	8 千円	普通旅費
10				需用費	100 千円	消耗品費	
項		項名称	12	委託料	32,814 千円	桜の森下刈550、誕生祝品贈呈700、DIY教室400、森林再生事業31,164	
2		林業費	13	使用料及び賃借料	171 千円	用地借地料39、システム使用料132	
			15	原材料費	132 千円	誕生祝品材料費	
目		目名称	18	負担金補助及び交付金	353 千円	負担金（林業協会17、北山組合131、さくらの会5）、町緑化推進委員会補助金200	
2	林業振興費	24	積立金	5 千円	森林環境譲与税基金利子		
		27	繰出金	106 千円	大木戸財産区特別会計繰出金		
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ●森林整備により森林が持つ多面的機能を維持・増進させる。 ●木育事業を推進し、地域材で製作した誕生祝品の贈呈のほか各種事業を実施する。 						
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ①ふくしま森林再生事業（森林整備30.0㌔、路網整備1,763m他） ②木育事業（誕生祝品贈呈、DIY教室開催） ③財産区事業（大木戸、入山、石母田） 						
事業の効果	●健全な森林の育成が図られる。						
次年度以降の見込み	●継続						

令和7年度「商工振興事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	産業振興課		所管係名	商工観光係							
総合計画上の位置付け	目 標	4	恵まれた資源を活かしたまちづくり		前 年 度	当初予算額	18,433 千円				
	政 策 名	2	魅力あふれる働きがいのあるまち			補正額（12月補正まで）	50 千円				
	施 策 名	1,2	商業の活性化、新産業創出と起業支援			最終予算額	18,483 千円				
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源				
	金 額	31,718 千円	国庫支出金	1,000 千円	県支出金	0 千円	地方債	12,300 千円	その他	10,000 千円	8,418 千円
	構成比	100.0 %	3.2 %	0.0 %	38.8 %	31.5 %	26.5 %				
	特定財源の名称		●小規模事業者支援推進事業		●商工業振興支援事業債（過疎債）		●貸付金元利収入（預託金回収金）		-		
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細				
7		商工費	1	報酬	33 千円	国見町工場等設置審議会委員会					
			8	旅費	95 千円	普通旅費					
項		項名称	10	需用費	145 千円	消耗品費95、チラシ印刷50					
1		商工費	12	委託料	100 千円	展示販売会					
			18	負担金補助及び交付金	104 千円	負担金（県貿易促進協議会15、県信用保証協会1、県企業誘致推進協議会88）					
目		目名称	18	負担金補助及び交付金	21,241 千円	補助金（商工会4,500、街路灯維持336、【新規】街路灯灯具更新13,354、共済利子1、ニット振興50、特産品開発支援400、創業利子600、資格取得300、【新規】設備投資900、【新規】魅力発信800）					
1	商工総務費	20				貸付金	10,000 千円	中小企業経営合理化資金融資預託金			
2	商工振興費										
事業の目的	●町経済の原動力である中小企業・小規模企業及び町内で創業したい方が、町内で安全安心に経営できるよう国や県、商工会、金融機関、その他関係支援機関と連携して、企業に寄り添う伴走型支援の一体的な取り組みと、第6次総合計画に基づく町の産業振興施策を着実に実行する。										
事業の概要	①中小企業・小規模企業振興条例に基づく伴走支援の構築（企業訪問、情報連絡会） ②支援策の実施（特産品開発補助、創業者利子補給、資格取得補助、設備投資補助、魅力発信支援補助など）										
事業の効果	●町内の中小企業・小規模企業の創業準備期から創業～成長～成熟～衰退～承継期まで切れ目ない支援を一体的に取り組み、中小企業・小規模企業が安全安心に経営できる。										
次年度以降の見込み	●継続										

令和7年度「観光振興事業」の概要

所管課名	産業振興課		所管係名	商工観光係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。		
総合計画上の位置付け	目 標	4	恵まれた資源を活かしたまちづくり		前年度	当初予算額	8,000 千円
	政 策 名	2	魅力あふれる働きがいのあるまち			補正額（12月補正まで）	0 千円
	施 策 名	3	道の駅利活用と観光振興			最終予算額	8,000 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	5,543 千円	1,353 千円	1,288 千円	0 千円	1,353 千円	1,549 千円
	構成比	100.0 %	24.4 %	23.2 %	0.0 %	24.4 %	27.9 %
	特定財源の名称		●福島再生加速化交付金	●地域創生総合支援事業補助金		●震災復興特別交付税	-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
		7	商工費	8	旅費	7 千円	普通旅費
10				需用費	40 千円	消耗品費	
1		商工費	11	役務費	20 千円	阿津賀志山トイレ汲取料	
			12	委託料	4,723 千円	【新規】デジタルスタンプラリー-1,717、阿津賀志山草刈300、ツアー事業2,706	
目		目名称	13	使用料及び賃借料	54 千円	阿津賀志山借地料	
	18		負担金補助及び交付金	699 千円	観光復興125、観光物産45、広域観光207、【新規】DC実行委員会322		
3	観光費			千円			
事業の目的	●米や桃・りんご・あんぼ柿などの農作物、阿津賀志山や防塁などの名所・旧跡、義経まつりや鹿島神社例大祭などのイベント、観光案内拠点・情報提供窓口の道の駅国見あつかしの郷といった町内外に誇れる町の宝（地域資源）を観光という視点で結びつけ、国見町の魅力を増大させ、地域経済の活性化に資する。					 	
事業の概要	①国見町を巡るツアー事業の開催（日帰り3回、宿泊2回、合計5回） ②デジタルスタンプラリーの実施 ③阿津賀志山頂上の環境整備（草刈、トイレ清掃）						
事業の効果	●地域経済が活性化し、観光客が気持ちよく「国見町に来て良かった」と思い、また再訪し、迎える町の一人一人が「国見町の観光の顔」として、おもてなしの心と町への愛着心を持つ。						
次年度以降の見込み	●継続						

令和7年度「道の駅推進事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	産業振興課		所管係名	商工観光係			
総合計画上の位置付け	目 標	4	恵まれた資源を活かしたまちづくり		前 年 度	当初予算額	36,755 千円
	政 策 名	2	魅力あふれる働きがいのあるまち			補正額（12月補正まで）	1,660 千円
	施 策 名	3	道の駅利活用と観光振興			最終予算額	38,415 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	35,605 千円	3,500 千円	0 千円	0 千円	29,900 千円	2,205 千円
	構成比	100.0 %	9.8 %	0.0 %	0.0 %	84.0 %	6.2 %
	特定財源の名称		●道路橋梁費負担金（道の駅管理負担金）		●ふるさと振興基金繰入		-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
		7	商工費	7	報償費	21 千円	道の駅等指定管理者第三者評価選定委員報償
				8	旅費	35 千円	費用弁償20、普通旅費15
		項	項名称	10	需用費	8 千円	消耗品費
		1	商工費	11	役務費	458 千円	施設検査手数料43、建物災害共済415
12				委託料	1,563 千円	消防286、工作物438、エレベーター点検278、建築物561	
目		目名称	18	負担金補助及び交付金	120 千円	東北連絡会75、全国連絡会20、スタンプラリー15、空の駅まつり10	
4	まちづくり 交流推進費	18	負担金補助及び交付金	33,400 千円	指定管理料（道の駅25,000、木育広場6,000、加工施設2,400）		
					千円		
事業の目的	●年間150万人を超える利用者が訪れ、地域活性化に寄与する道の駅国見あつかしの郷の安定した維持管理等を行う。						
事業の概要	①道の駅国見あつかしの郷、国見町農産物加工施設に係る維持管理費、指定管理料 ②道の駅設置自治体が加入する各道の駅連絡会会費 ③第三者評価選定委員会、農産物加工施設利用促進、指定管理者定例協議						
事業の効果	●道の駅国見あつかしの郷、国見町農産物加工施設の安定した運営管理及び来場者・利用者への利便性の向上等が図られる。						
次年度以降の見込み	●継続						



令和7年度「定住化促進総合対策事業」の概要

創生・過疎

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	建設課	所管係名	管理係					
総合計画上の位置付け	目 標	6	町として生きるまちづくり		前 年 度	当初予算額	4,704 千円	
	政 策 名	2	人が集まりまた来たくなるまち（交流連携）			補正額（12月補正まで）	0 千円	
	施 策 名	2	移住定住と関係人口創出			最終予算額	4,704 千円	
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	4,704 千円		千円	千円	千円	4,620 千円	84 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	0.0 %	98.2 %	1.8 %
	特定財源の名称						町営・定住促進住宅使用料、ふるさと振興基金	-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		2	総務費	13	使用料及び賃借料	4,704 千円	子育て住宅賃借料	
						千円		
			項		項名称	千円		
		1	総務管理費			千円		
					千円			
	目	目名称			千円			
	8	企画費			千円			
					千円			
事業の目的	子育て世代の町外からの移住定住の促進を図り、人口減少に歯止めをかける。							
事業の概要	板橋南子育て住宅の入居管理、維持管理など							
事業の効果	子育て世代の町外からの移住定住の促進による地域の活性化。							
次年度以降の見込み	継続して管理に努める。							



令和7年度「農業施設整備事業」の概要

所管課名	建設課		所管係名	建設係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。			
総合計画上の位置付け	目 標	4	恵まれた資源を活かしたまちづくり		前 年 度	当初予算額	16,782 千円	
	政 策 名	1	おいしい農産物のあるまち			補正額（12月補正まで）	10,000 千円	
	施 策 名	1	農業生産基盤の整備充実			最終予算額	26,782 千円	
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	28,731 千円		千円	14,000 千円	千円	6,000 千円	8,731 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	48.7 %	0.0 %	20.9 %	30.4 %
	特定財源の名称			水利施設等保全高度化事業費補助金		公共施設整備基金		-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		6	農林水産業費	8	旅費	4 千円	普通旅費	
				10	需用費	990 千円	消耗品費31、観月台・大滝公園電気料735、水道料174、修繕料50	
		1	農業費	11	役務費	93 千円	大滝公園浄化槽検査10、建物災害共済49、機械損害5、農業用排水路施設賠償保険29	
				12	委託料	21,643 千円	測量設計21,500、保守点検27、大滝公園浄化槽管理116	
6		農地費	13	使用料及び賃借料	3 千円	JR用地借地料		
			14	工事請負費	4,000 千円	農業用施設維持修繕工事(町内会要望分を含む)		
6		農地費	15	原材料費	200 千円	土地改良資材等		
	18		負担金補助及び交付金	1,798 千円	土地連28、西根堰補助1770			
事業の目的	農業用施設(水路・農道・ため池等)についての整備、維持管理を行う。							
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・農業用施設(水路・農道・ため池等)の整備、実施計画策定、維持管理 ・伊達西根堰事業に対する補助 							
事業の効果	農業生産基盤の整備や維持管理により、農業の生産性向上を図る。							
次年度以降の見込み	継続して農業用施設の維持管理に努める。							



令和7年度「林道整備事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	建設課	所管係名	建設係					
総合計画上の 位置付け	目 標	2	安全、安心、優しいまちづくり		前 年 度	当初予算額	13,020 千円	
	政 策 名	2	便利で快適なまち			補正額（12月補正まで）	0 千円	
	施 策 名	4	道路・河川の整備			最終予算額	13,020 千円	
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	13,020 千円	千円	4,500 千円	千円	4,000 千円	4,520 千円	
	構成比	100.0 %	0.0 %	34.6 %	0.0 %	30.7 %	34.7 %	
	特定財源の名称				林道改良事業	公共施設整備基金		-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		6	農林水産業費	10	需用費	20 千円	消耗品	
				12	委託料	1,200 千円	維持管理・除草等業務1,200	
		項	項名称	14	工事請負費	11,800 千円	林道維持管理工事2,800、林道阿津賀志線整備9,000	
		2	林業費			千円		
					千円			
目	目名称			千円				
3	林道費			千円				
				千円				
事業の目的	森林資源の有効活用を図るため維持管理を行う。							
事業の概要	林道の維持管理および道整備交付金による林道阿津賀志線の待避所・法面整備							
事業の効果	林道を安心して通行できる。							
次年度以降の見込み	継続して林道の維持管理に努める。							



令和7年度「道路維持事業（道路維持・除雪）」の概要

創生・過疎

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	建設課	所管係名	建設係						
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全、安心、優しいまちづくり				前年度	当初予算額	30,691 千円
	政 策 名	2	便利で快適なまち					補正額（12月補正まで）	53,779 千円
	施 策 名	4	道路・河川の整備					最終予算額	84,470 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他			
	金 額	20,879 千円	千円	千円	千円	15,495 千円	5,384 千円		
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	74.2 %	25.8 %		
	特定財源の名称						公共施設整備基金、道路占用料、行政財産使用料		-
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細			
	8	土木費	1	報酬	2,367 千円	会計年度任用職員報酬2名			
			3	職員手当	904 千円	会計年度任用職員2名期末手当491、会計年度任用職員2名勤勉手当413			
	項	項名称	8	旅費	167 千円	普通旅費46、会計年度任用職員1名通勤手当121			
	2	道路橋梁費	10	需用費	432 千円	消耗品費355、光熱水費77			
			11	役務費	179 千円	自動車損害共済(除雪車両)			
	目	目名称	12	委託料	2,730 千円	植樹管理900、敷砂利165、町道維持管理165、除雪等1,500			
	2	道路維持費	13	使用料及び賃借料	100 千円	機械借上70、用地借地30			
			14	工事請負費	13,000 千円	町道修繕13,000			
15			原材料費	1,000 千円	道路補修材1,000				
事業の目的	生活道路の安全安心を保持するため維持管理を行う。								
事業の概要	町道の維持管理（除雪を含む）								
事業の効果	生活に密着した道路が安心して通行できる。								
次年度以降の見込み	継続して町道の維持管理に努める。								

令和7年度「橋梁維持事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	建設課		所管係名	建設係			
総合計画上の 位置付け	目 標	2	安全、安心、優しいまちづくり		前 年 度	当初予算額	250,148 千円
	政 策 名	2	便利で快適なまち			補正額（12月補正まで）	0 千円
	施 策 名	4	道路・河川の整備			最終予算額	250,148 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	140,548 千円	84,700 千円	千円	42,600 千円	500 千円	12,748 千円
	構成比	100.0 %	60.3 %	0.0 %	30.3 %	0.4 %	9.1 %
	特定財源の名称		道路メンテナンス事業		橋梁補修事業債	公共施設整備基金	-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
8		土木費	10	需用費	48 千円	徳江大橋電気料	
			12	委託料	7,000 千円	橋梁点検診断業務(JR跨線橋・日照田橋)	
2		道路橋梁費	14	工事請負費	120,500 千円	徳江大橋修繕	
			18	負担金補助及び交付金	13,000 千円	橋梁調査負担金	
					千円		
				千円			
3	橋梁維持費			千円			
事業の目的	既存橋梁の維持管理を行う。						
事業の概要	既存橋梁の点検診断業務1橋、修繕工事3橋、維持管理、電気料						
事業の効果	既存橋梁の適正な維持管理により安全な通行ができる。						
次年度以降の見込み	継続して橋梁の維持管理に努める。						

令和7年度「道路改良舗装事業」の概要

創生・過疎

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	建設課		所管係名	建設係			
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全、安心、優しいまちづくり		前 年 度	当初予算額	234,829 千円
	政 策 名	2	便利で快適なまち			補正額（12月補正まで）	0 千円
	施 策 名	4	道路・河川の整備			最終予算額	234,829 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	125,230 千円	52,500 千円	千円	45,100 千円	25,000 千円	2,630 千円
	構成比	100.0 %	41.9 %	0.0 %	36.0 %	20.0 %	2.1 %
	特定財源の名称		社総金、道の整備事業		道路整備事業債	公共施設整備基金	-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
8		土木費	8	旅費	32 千円	普通旅費	
			10	需用費	198 千円	消耗品費70、燃料費128	
2		道路橋梁費	12	委託料	30,000 千円	道路測量設計	
			14	工事請負費	94,000 千円	町道改良舗装工事	
4		道路橋梁新設改良費	16	公有財産購入費	400 千円	町道敷地	
	21		補償補填及び賠償金	600 千円	電柱等移転		
事業の目的	狭隘道路、未舗装道路を改良、舗装して安全安心な町道の整備を行う。					 	
事業の概要	町道4号改良工事ほか						
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・通行の安全を確保することができる。 ・集落内の狭隘道路の改良を進める。 						
次年度以降の見込み	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な路線の整備を引き続き進める。 ・地方創生事業により町道4号舗装整備を進める。 						

令和7年度「都市計画事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	建設課		所管係名	管理係			
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全、安心、優しいまちづくり		前 年 度	当初予算額	6,423 千円
	政 策 名	2	便利で快適なまち			補正額（12月補正まで）	1,488 千円
	施 策 名	1	有効な土地利用			最終予算額	7,911 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	13,108 千円	4,715 千円	1,007 千円	千円	7,386 千円	千円
	構成比	100.0 %	36.0 %	7.7 %	0.0 %	56.3 %	0.0 %
	特定財源の名称		耐震診断、耐震改修、ブロック塀、空家再生	耐震診断、耐震改修、ブロック塀、空家除却		屋外広告物申請手数料、町有地貸付、町営住宅使用料	-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
		8	土木費	1	報酬	224 千円	都市計画審議会委員115、空家等対策協議会委員109
				8	旅費	86 千円	費用弁償73、普通旅費13
		項	項名称	10	需用費	243 千円	消耗品37、ニュータウン街路・公園電気料173、水道料33
		4	都市計画費	11	役務費	95 千円	ニュータウン公園等建物災害共済95
12				委託料	9,358 千円	消防点検198、ニュータウン施設管理962、耐震診断者派遣1,198、空家実態調査7,000	
目		目名称	14	工事請負費	600 千円	みなし道路後退用地舗装改良600	
1	都市計画総務費	18	負担金補助及び交付金	2,502 千円	都計協20、区画協7、街路協15、まち協10、耐震改1,150、ブロック塀500、空家除却800		
				千円			
事業の目的	都市計画区域内の均衡ある発展と安心安全な都市環境の保全を行う。						
事業の概要	都市計画関連業務、木造耐震改修支援、空家等実態調査など						
事業の効果	均衡ある都市環境の形成および安全な居住環境の確保を図ることができる。						
次年度以降の見込み	継続してマスタープラン等の進行管理を行うとともに耐震改修支援等を継続して進める。						



令和7年度「都市再生整備計画推進事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	建設課		所管係名	建設係			
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全、安心、優しいまちづくり		前 年 度	当初予算額	0 千円
	政 策 名	2	便利で快適なまち			補正額（12月補正まで）	0 千円
	施 策 名	1	有効な土地利用			最終予算額	0 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	50,000 千円	20,000 千円	千円	27,000 千円	千円	3,000 千円
	構成比	100.0 %	40.0 %	0.0 %	54.0 %	0.0 %	6.0 %
	特定財源の名称		社総金 都市再生整備事業		都市再生整備事業債		-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
		8	土木費	14	工事請負費	29,000 千円	道路改良工事
				21	公有財産購入費	21,000 千円	町道敷地
		項	項名称			千円	
		4	都市計画費			千円	
					千円		
目	目名称			千円			
3	都市再生整備計画推進費			千円			
				千円			
事業の目的	町道、駅前広場の整備						
事業の概要	駅前整備工事（ロータリー、駅前広場整備）						
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前利便性の向上させる。 ・駅利用者の安全を確保することができる。 						
次年度以降の見込み	継続して駅前整備工事を進める。						



令和7年度「住宅維持管理事業」の概要

創生・過疎

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	建設課		所管係名	管理係			
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全、安心、優しいまちづくり		前 年 度	当初予算額	19,815 千円
	政 策 名	2	便利で快適なまち			補正額（12月補正まで）	3,750 千円
	施 策 名	3	住宅の整備と空家対策			最終予算額	23,565 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	41,406 千円	12,737 千円	千円	千円	25,369 千円	3,300 千円
	構成比	100.0 %	30.8 %	0.0 %	0.0 %	61.3 %	8.0 %
	特定財源の名称		社総金（地域優良賃貸住宅、ストック総合改善）		町営住宅等使用料		-
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
	8	土木費	7	報償費	85 千円	住宅管理人報償	
			8	旅費	5 千円	普通旅費	
	項	項名称	10	需用費	2,079 千円	消耗品359、電気料684、水道料36、修繕料1,000	
	5	住宅費	11	役務費	555 千円	口座振替53、水道検査等43、建物災害共済5、公営住宅火災共済454	
			12	委託料	29,699 千円	実施設計3,581、消防設備537、浄化槽157、排水管715、EV保守1,452、特定建築物定期検査682、受水槽175、植栽400、基本設計22,000	
	目	目名称	14	工事請負費	8,950 千円	老朽公営住宅除却4,950、施設修繕4,000	
1	住宅管理費	18	負担金補助及び交付金	33 千円	地域住宅協議会10、公営住宅管理研修会他23		
				千円			
事業の目的	住宅困窮者の生活の安定と社会福祉の増進を行う。						
事業の概要	町営住宅の維持管理など						
事業の効果	住宅に困窮している人へ低価な家賃での住宅提供を図り、安定した生活に資する。						
次年度以降の見込み	継続して維持管理に努め、使用料の収納率向上に向けての対策を進める。						



令和7年度「教育委員会事務事業」の概要

所管課名	教育総務課・教育施設課		所管係名	総務係・こども教育係・施設管理係		※構成比の不一致は端数整理によるものです。					
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり			前年度	当初予算額	50,669 千円			
	政 策 名	2	生きる力をはぐくむまち（義務教育）				補正額（12月補正まで）	5,531 千円			
	施 策 名	1	子どもの生きる力の育成				最終予算額	56,200 千円			
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源				
	金 額	44,977 千円	国庫支出金	0 千円	県支出金	3,489 千円	地方債	0 千円	その他	3,828 千円	37,660 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	7.8 %	0.0 %	8.5 %	83.7 %				
	特定財源の名称				部活動指導員配置促進事業補助金		ふるさと振興基金繰入金(3,700),外国人青年住居負担金(12),ｽﾎｰﾙ安全保険保護者納付分(116)		-		
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細				
	10	教育費	1	報酬	13,486 千円	教育委員、会計年度任用職員、各種委員（いじめ専門委員、コミュニティスクール委員等）					
			2	給料	7,206 千円	会計年度任用職員給料					
			3	職員手当等	7,776 千円	会計年度任用職員各種手当等					
	1	教育総務費	4	共済費	3,220 千円	会計年度任用職員共済組合負担金					
			7	報償費	5,656 千円	各種委員、講師等報償、幼小中入学支援祝品					
	1	教育委員会費	8	旅費	1,483 千円	職員等通勤手当、各種委員等費用弁償、研修視察旅費等					
			9	交際費	90 千円	教育長交際費					
			10	需用費	490 千円	事務用品、参考図書、公用車燃料等					
	2	事務局費	11	役務費	213 千円	回線使用料、部活動地域移行コーディネーター損害保険、公用車保険等					
			12	委託料	300 千円	先進地視察時バス運行委託					
13			使用料及び賃借料	490 千円	ALT（外国人指導助手）住宅借上料、駐車料金						
18			負担金補助及び交付金	4,545 千円	職員等退職手当組合負担金、研修・各種団体負担金、教育研究会等補助金						
			26	公課費	22 千円	重量税					
事業の目的	教育委員会の運営、保幼小中連携一貫教育、いじめ防止・健全育成、国際理解教育等を図り、子どもたちの教育環境の維持向上を目的とする。										
事業の概要	教育委員会の開催、コミュニティ・スクール委員会、いじめ防止対策条例による委員会、外国青年受入れ事業、保幼小中一貫教育推進事業、部活動地域移行推進事業、教育支援委員会、事務の点検及び評価、保育・教育検討委員会										
事業の効果	教育行政として重要事項や基本方針の決定を行い、保育・教育の在り方を検討する委員会を設置する。保幼小中連携一貫教育の推進、学校・家庭・地域が役割と責任を自覚し、地域全体で教育活動の支援体制を向上させる。いじめ防止に関する機関、団体の連携が推進される。いじめ防止の対策が明確に示される。英語発音や国際理解教育の向上を図られる。										
次年度以降の見込み	次年度以降も継続実施										

令和7年度「学力向上対策事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	教育総務課		所管係名	総務係・こども教育係			
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり		前 年 度	当初予算額	8,526 千円
	政 策 名	2	生きる力をはぐくむまち（義務教育）			補正額（12月補正まで）	0 千円
	施 策 名	1	子どもの生きる力の育成			最終予算額	8,526 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	8,812 千円	0 千円	850 千円	0 千円	6,300 千円	1,662 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	9.6 %	0.0 %	71.5 %	18.9 %
	特定財源の名称		森林環境交付金		ふるさと振興基金繰入金		
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
		10	教育費	7	報償費	282 千円	講師謝金
				8	旅費	59 千円	費用弁償
		1	教育総務費	10	需用費	124 千円	消耗品、賞状印刷費
				11	役務費	27 千円	損害保険料
目		目名称	12	委託料	8,135 千円	学力診断テスト、バス運行委託、Q-Uテスト、ICT支援員配置	
			13	使用料及び賃借料	8 千円	入場料	
3	学力向上対策費	18	負担金補助及び交付金	177 千円	中学2・3年生英語数学検定試験補助金		
				千円			
事業の目的	学力向上、運動能力向上・体力向上、ICT教育の充実 英語教育の充実、不登校児童・生徒のサポート						
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学力テスト、体力テストの実施 ・ICT支援員配置 ・英語学力向上対策、英会話体験講座の開設 ・英語、数学検定試験受験料補助金 ・教育支援センター「ステップ」事業 						
事業の効果	学力・体力テストの結果を分析し、自校の課題を明確にし、授業の改善・充実を図る。 ICTを活用した授業の充実・強化。 英語への関心、学習意欲の維持向上及びコミュニケーション能力の伸長。 個に応じた学習支援による、不登校等児童生徒の社会的自立に向けた支援の強化、充実。						
次年度以降の見込み	次年度以降も継続実施						



令和7年度「育英事業」の概要

所管課名	教育総務課		所管係名	総務係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。						
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり		前年度	当初予算額	4,808 千円				
	政 策 名	2	生きる力をはぐくむまち（義務教育）			補正額（12月補正まで）	0 千円				
	施 策 名	3	学習環境の充実			最終予算額	4,808 千円				
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源				
	金 額	5,958 千円	国庫支出金	0 千円	県支出金	千円	地方債	千円	その他	3,702 千円	2,256 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	62.1 %	37.9 %				
	特定財源の名称						奨学資金返還金、奨学基金繰入金、奨学基金利子		-		
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細				
10		教育費	1	報酬	20 千円	貸付審査会委員報酬					
			11	役務費	3 千円	手数料					
項		項名称	18	負担金補助及び交付金	2,233 千円	貸付審査会委員公務災害負担金、町奨学資金返還支援補助金					
1		教育総務費	20	貸付金	3,680 千円	修学資金（新規・継続）					
			24	積立金	22 千円	積立金（基金利子分）					
目	目名称			千円							
4	育英事業費			千円							
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・町内出身の学生が能力があるにもかかわらず経済的な理由により修学困難と認められたとき、奨学資金を貸与することで教育の機会均等を図り、健全な社会の発展に資する。 ・奨学金の返還を行う者に対して経済的負担軽減を図り、若者の定住促進を図る。 										
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・高校、高等専門学校、大学で学びたい学生に奨学金、入学支度金を貸与する。（修学資金、入学支度金） ・在学時に借入れた奨学資金の返済額について補助金を支給する。 										
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・学生が進学を断念することなく、教育の機会均等が図られる。 ・若者の定住促進が図られる。 										
次年度以降の見込み	次年度以降も継続実施										



令和7年度「小学校管理事業」の概要

所管課名	教育総務課・教育施設課	所管係名	総務係・こども教育係・施設管理係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。								
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり	前 年 度	当初予算額	87,149 千円						
	政 策 名	2	生きる力をはぐくむまち（義務教育）		補正額（12月補正まで）	91,583 千円						
	施 策 名	3	学習環境の充実		最終予算額	178,732 千円						
予 算 額	総事業費			特 定 財 源				一般財源				
	金 額	84,008 千円		国庫支出金	0 千円	県支出金	2,325 千円	地方債	1,800 千円	その他	22,949 千円	56,934 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	2.8 %	2.1 %	27.3 %	67.8 %				
	特定財源の名称			スクールソーシャルワーカー緊急派遣事業	LED化事業債	電力売電収入(36),日本スポーツ振興センター掛金保護者納付分(113),ふるさと振興基金(22,000),文教施設整備基金繰入金(800)			-			
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額		明 細				
		10	教育費	1	報酬	15,939	千円	会計年度任用職員（SSW（スクールソーシャルワーカー）、用務員、特別支援）、学校医、学校薬剤師				
				2	給料	2,912	千円	会計年度任用職員（学校司書）				
				3	職員手当等	6,425	千円	会計年度任用職員各種手当（通勤、超過勤務、期末・勤勉）				
		項	項名称	4	共済費	2,050	千円	会計年度任用職員共済組合負担金				
		2	小学校費	7	報償費	1,200	千円	英語非常勤講師報償				
8				旅費	575	千円	会計年度任用職員通勤手当、SSW会議、支援員児童引率等					
10				需用費	12,173	千円	事務用品、光熱水費、感染予防消毒、プール用薬品、施設修繕等					
目		目名称	11	役務費	1,213	千円	郵便料、電話料、各種点検検査手数料、建物共済保険料等					
			12	委託料	36,186	千円	健康管理諸検査、システム運用、施設設備保守点検、バス運行、施設LED改修設計、エアコン清掃等					
1	学校管理費	13	使用料及び賃借料	1,398	千円	A E D、コピー機、清掃用具等借上、駐車場敷地借地料等						
		14	工事請負費	200	千円	修繕工事						
		17	備品購入費	3,426	千円	校務用パソコン等						
		18	負担金補助及び交付金	252	千円	日本スポーツ振興センター負担金						
		21	補償補填及び賠償金	59	千円	授業目的公衆送信補償金（授業等で著作権がある画像等を使用するための補償金）						
事業の目的	社会の変化に対応した、安全安心な教育環境の提供											
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 校舎等の維持管理（ICT環境整備、法定整備点検等） SSW,学校医,英語教育非常勤講師等の配置 スクールバスの運行、校務用（教師用）パソコン更新 											
事業の効果	教育環境の整備に努めることで、児童及び保護者、教職員が安心して効果的に学習活動に取り組むことができる。											
次年度以降の見込み	次年度以降も継続実施											

令和7年度「小学校教育振興事業」の概要

創生・過疎

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	教育総務課		所管係名	総務係・こども教育係					
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり			前年度	当初予算額	5,527 千円	
	政 策 名	2	生きる力をはぐくむまち（義務教育）				補正額（12月補正まで）	119 千円	
	施 策 名	3	学習環境の充実				最終予算額	5,646 千円	
予 算 額			総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他			
	金 額	5,145 千円		92 千円	0 千円	0 千円	0 千円	5,053 千円	
	構成比	100.0 %		1.8 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	98.2 %	
	特定財源の名称			特別支援教育奨励費				-	
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細		
		10	教育費	7	報償費	191 千円	総合学習講師報償、運動会参加賞、卒業記念品		
10				需用費	1,100 千円	教材費、楽器等修繕			
2		小学校費	11	役務費	132 千円	モバイルルーター通信料			
			12	委託料	845 千円	知能テスト、校外学習送迎委託業務、プログラミングロボット運用業務			
目		目名称	13	使用料及び賃借料	1,094 千円	電子黒板リース、i-FILTERライセンス、入場料			
			17	備品購入費	854 千円	オルガン、てこのはたらき体験セット、児童図書			
2	教育振興費	19	扶助費	929 千円	要保護・準用保護児童就学援助費、特別支援教育就学奨励費補助金				
事業の目的	すべての児童の情報活用能力及び言語能力に支えられた学習の基盤となる資質・能力の育成。								
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 教材備品・ICT環境の充実 要保護・準用保護児童就学援助及び特別支援教育就学奨励費補助金 								
事業の効果	創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開することで、主体的・対話的で深い学びを実現し、すべての児童の学力の向上、豊かな心の育成、健康・体力の向上を図る。								
次年度以降の見込み	次年度以降も継続実施								

令和7年度「中学校管理事業」の概要

所管課名	教育総務課・教育施設課		所管係名	総務係・こども教育係・施設管理係		※構成比の不一致は端数整理によるものです。		
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり			前 年 度	当初予算額	34,016 千円
	政 策 名	2	生きる力をはぐくむまち（義務教育）				補正額（12月補正まで）	6,436 千円
	施 策 名	3	学習環境の充実				最終予算額	40,452 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	38,250 千円		0 千円	0 千円	1,300 千円	11,256 千円	25,694 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	3.4 %	29.4 %	67.2 %
	特定財源の名称					LED化事業債	ふるさと振興基金(10,000),文教施設整備基金(1,200),スポーツ振興センター掛金保護者納付分(56)	-
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細		
	10	教育費	1	報酬	9,239 千円	会計年度任用職員（用務員、特別支援）、学校医、学校薬剤師		
			3	職員手当等	3,397 千円	会計年度任用職員各種手当（期末・勤勉）		
			4	共済費	799 千円	会計年度任用職員共済組合負担金		
	3	中学校費	7	報償費	0 千円	SC（スクールカウンセラー）報償		
			8	旅費	237 千円	会計年度任用職員、SC通勤手当、支援員引率		
	3	中学校費	10	需用費	9,396 千円	事務用品、光熱水費、感染予防消毒、プール用薬品、施設修繕等		
			11	役務費	1,260 千円	郵便料、電話料、各種点検検査手数料、建物共済保険料等		
	1	学校管理費	12	委託料	9,930 千円	健康管理諸検査、システム運用、施設設備保守点検、施設LED改修設計、エアコン清掃等		
			13	使用料及び賃借料	973 千円	AED、コピー機、清掃用具等借上、駐車場敷地借地料等		
			14	工事請負費	200 千円	施設修繕工事		
			17	備品購入費	2,645 千円	校務用パソコン等		
18			負担金補助及び交付金	133 千円	日本スポーツ振興センター負担金			
		21	補償補填及び賠償金	41 千円	授業目的公衆送信補償金（授業等で著作権がある画像等を使用するための補償金）			
事業の目的	社会の変化に対応した、安全安心な教育環境の提供							
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 校舎等の維持管理（ICT環境整備、法定整備点検等） SC、学校医の配置 							
事業の効果	教育環境の整備に努めることで、生徒及び保護者、教職員が安心して効果的に学習活動に取り組むことができる。							
次年度以降の見込み	次年度以降も継続実施							

令和7年度「中学校教育振興事業」の概要

創生・過疎

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	教育総務課		所管係名	総務係・こども教育係									
総合計画上の 位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり				前 年 度	当初予算額	8,443 千円				
	政 策 名	2	生きる力をはぐくむまち（義務教育）					補正額（12月補正まで）	5,026 千円				
	施 策 名	3	学習環境の充実					最終予算額	13,469 千円				
予 算 額	総事業費		特 定 財 源					一般財源					
			国庫支出金	県支出金		地方債					その他		
	金 額	8,302 千円		235 千円	0 千円		0 千円		0 千円		8,067 千円		
	構成比	100.0 %		2.8 %	0.0 %		0.0 %		0.0 %		97.2 %		
	特定財源の名称			特別支援教育奨励費（169） 理科教育設備整備費等補助金（66）						-			
	内 訳	款	款名称		節	節名称		予算額		明 細			
		10	教育費		7	報償費		325	千円		総合学習講師報償、子ども議会参加記念品、卒業記念品		
					10	需用費		1,600	千円		教材費、楽器等修繕		
		項	項名称		11	役務費		152	千円		モバイルルーター通信料、修学旅行企画料		
		3	中学校費		12	委託料		233	千円		知能テスト、伊達地区音楽祭送迎委託業務、プログラミングロボットシステム運用業務		
13					使用料及び賃借料		1,048	千円		電子黒板リース、i-FILTERライセンス、教材借上料等			
目		目名称		17	備品購入費		1,300	千円		アルトサクソフォン、ミシン、糸のこ、ホワイトボード、顕微鏡、生徒用図書			
2		教育振興費		18	負担金補助及び交付金		2,000	千円		部活動補助金			
	19			扶助費		1,644	千円		要保護・準用保護児童就学援助費、特別支援教育就学奨励費補助金				
事業の目的	すべての生徒の情報活用能力及び言語能力に支えられた学習の基盤となる資質・能力の育成。まちづくり参画への意識の醸成。												
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・教材備品・ICT環境の充実 ・要保護・準用保護児童就学援助及び特別支援教育就学奨励費補助金 ・部活動補助金 ・子ども議会の開催 												
事業の効果	創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開することで、主体的・対話的で深い学びを実現し、すべての生徒の学力の向上、豊かな心の育成、健康・体力の向上を図る。 まちづくり参画への意識を醸成し、また、子どもたちの主体性を育み、心身ともに健康で人間性豊かに成長する一助とする。												
次年度以降の見込み	次年度以降も継続実施												



令和7年度「学校給食事業」の概要

所管課名	教育総務課		所管係名	給食センター	※構成比の不一致は端数整理によるものです。			
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり		前 年 度	当初予算額	106,273 千円	
	政 策 名	2	生きる力をはぐくむまち			補正額（12月補正まで）	6,510 千円	
	施 策 名	1	子どもの生きる力の育成			最終予算額	112,783 千円	
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	135,150 千円		千円	312 千円	30,900 千円	77,772 千円	26,166 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	0.2 %	22.9 %	57.5 %	19.4 %
	特定財源の名称			ふくしま旬の食材等活用 推進事業	給食費無償化事業債 (30,000),LED化事業債(900)	給食事業収入(6,372),文教施設整備基金 繰入金(40,000),ふるさと振興基金繰入 金(31,400)	-	
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		10	教育費	1	報酬	60 千円	給食センター運営委員報酬	
				8	旅費	10 千円	費用弁償、普通旅費	
		項	項名称	10	需用費	55,719 千円	消耗品費1,535、燃料費4,387、光熱水費5,204、修繕料1,320、賄材料費43,093	
		6	保健体育費	11	役務費	644 千円	通信運搬費132、手数料396、火災保険料49、損害保険料67	
12				委託料	36,673 千円	調理業務、炊飯加工業務、施設LED改修設計、施設管理等		
目		目名称	14	工事費	40,040 千円	食器洗浄機一式及び食缶洗浄機一式の更新		
3		学校給食費	17	備品購入費	1,958 千円	クリーンロッカー（衣類殺菌庫）3台		
	18		負担金補助及び交付金	17 千円	負担金			
	26		公課費	29 千円	自動車重量税			
事業の目的	学校給食における児童生徒の健康増進、体位の向上と望ましい食習慣の形成を目指し、より一層安全で「喜ばれる学校給食」を提供する。							
事業の概要	①安全・安心な学校給食の提供、②食育指導の充実、③給食センター運営委員会 ④学校給食献立作成委員会、⑤給食センター施設の管理運営、⑥設備・備品の更新							
事業の効果	学校給食を活用した食育を推進することで、「健康増進」「正しい食習慣」「感謝の心」 「郷土愛」「生産・流通・消費」について学習することができる。							
次年度以降の見込み	次年度以降も継続事業							



令和6年12月19日
『クリスマス献立』
・カット丸パン
・牛乳
・チーズインハンバーグ
・プロッコリーツナマヨサラダ
・冬野菜のミネストローネ
・クリスマスケーキ(チョコ)

令和7年度「藤田保育所運営事業」の概要

所管課名	教育総務課・教育施設課		所管係名	総務係・こども教育係・施設管理係		※構成比の不一致は端数整理によるものです。					
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり			前 年 度	当初予算額	88,064 千円			
	政 策 名	1	安心して子どもを産み育てられるまち				補正額 (12月補正まで)	11,373 千円			
	施 策 名	1	子育て支援の推進				最終予算額	99,437 千円			
	総事業費		特 定 財 源				一般財源				
	金 額	115,022 千円	国庫支出金	1,062 千円	県支出金	1,293 千円	地方債	600 千円	その他	14,966 千円	97,101 千円
	構成比	100.0 %	0.9 %	1.1 %	0.5 %	13.0 %	84.4 %				
	特定財源の名称		地域の子ども・子育て支援事業交付金	保育対策総合支援事業費補助金(231)、地域の子ども・子育て支援事業交付金(1,062)	LED化事業債	保護者一部負担金(6,934)、給食事業収入(867)、 [※] 保険保護者納付分(15)、文教基金(700)、ふるさと振興基金(6,450)	-				
予 算 額	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細				
		3	民生費	1	報酬	13,671 千円	会計年度任用職員（保育士）、超過勤務手当				
				2	給料	40,237 千円	会計年度任用職員（保育士、事務員）				
				3	職員手当等	22,027 千円	会計年度任用職員各種手当（通勤、超過勤務、期末・勤勉）				
		2	児童福祉費	4	共済費	12,269 千円	会計年度任用職員共済組合負担金				
				7	報償費	231 千円	子育て支援事業講師、定期健診医師、修了記念品等				
	8			旅費	292 千円	会計年度任用職員通勤手当、講師旅費、保育士研修					
	目	目名称	10	需用費	13,504 千円	事務用品、厨房用品、光熱水費、施設修繕、賄材料費、おやつ、医薬品、衛生用品					
			11	役務費	550 千円	電話料、健診等手数料、ピアノ調律、口座振替手数料、建物共済保険料					
			12	委託料	11,568 千円	施設設備保守点検、除草業務、電算処理、講師派遣研修、給食調理 LED化設計					
	2	常設保育所施設費	13	使用料及び賃借料	288 千円	A E D、コピー機、清掃用具等借上					
			17	備品購入費	321 千円	キャンピングトロッコ、室内遊具、図書等					
			18	負担金補助及び交付金	64 千円	日本スポーツ振興センター、県社会福祉協議会、保育協議会等負担金					
事業の目的	保護者が就労等により、日中の時間に子どもの保育ができない家庭の子どもを常設の保育所で預かり、専門知識を有する保育士が保育を行うことで保護者の支援を行う。										
事業の概要	①藤田保育所において、0歳児からの保育 ②延長・一時預かり等の特別保育事業を実施 ③子育て支援センターでの育児相談や指導、情報提供 ④子育てサークル等の育成支援を実施 ⑤藤田保育所保育料を半額とし、子育て世代の負担軽減を図る。										
事業の効果	・保育を必要とする乳児等を保育し、子どもの健やかな成長と発達の支援を行う。 ・就労等で保育できない保護者の子育て支援策となる。 ・在宅保育者が子育てサークル等へ積極的に参加できる。										
次年度以降の見込み	次年度以降も継続して行う。										



令和7年度「くにみ幼稚園運営事業」の概要

所管課名	教育総務課・教育施設課		所管係名	総務係・こども教育係・施設管理係		※構成比の不一致は端数整理によるものです。					
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり			前年度	当初予算額	53,527 千円			
	政 策 名	1	安心して子どもを産み育てられるまち				補正額（12月補正まで）	10,933 千円			
	施 策 名	1	子育て支援の推進				最終予算額	64,460 千円			
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源				
	金 額	70,553 千円	国庫支出金	0 千円	県支出金	0 千円	地方債	1,500 千円	その他	1,121 千円	67,932 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	2.1 %	1.6 %	96.3 %				
	特定財源の名称				LED化事業債(1,000),施設適正化維持管理事業債(500)	日本スポーツ振興センター掛金保護者納付分(21),文教施設整備基金(1,100)	-				
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細					
	10	教育費	1	報酬	3,422 千円	会計年度任用職員（養護教諭、講師）、超過勤務手当					
			2	給料	29,996 千円	会計年度任用職員（用務員、幼稚園教諭）					
			3	職員手当等	14,043 千円	会計年度任用職員各種手当（通勤、超過勤務、期末・勤勉）					
	項	項名称	4	共済費	9,105 千円	会計年度任用職員共済組合負担金					
			7	報償費	338 千円	講師謝礼（研修、英語活動、運動教室）、定期健診医師、修了記念品等					
	4	幼稚園費	8	旅費	236 千円	会計年度任用職員通勤手当、講師費用弁償、遠足引率、職員研修					
			10	需用費	6,255 千円	事務用品、印刷代コピー代、光熱水費、燃料代、施設修繕、医薬品、衛生用品					
			11	役務費	458 千円	電話料、内科眼科健診、浄化槽点検、ピアノ調律等手数料、建物共済保険料					
	目	目名称	12	委託料	4,317 千円	施設設備保守点検、エアコン清掃、電算処理、健康管理諸検査、バス運行、LED設計					
	1	幼稚園費	13	使用料及び賃借料	477 千円	A E D、印刷機コピー機、清掃用具等借上、遠足時入場料					
			14	工事請負費	972 千円	トイレ洋式化、配膳室エアコン設置					
			17	備品購入費	680 千円	ブロック、積み木、リヤカー、簡易プール					
18			負担金補助及び交付金	254 千円	研修参加費、日本スポーツ振興センター、幼稚園長会負担金、通園補助金						
事業の目的	3歳から5歳の幼児に対して就学前の教育を行い、様々な体験を重ねることで生きる力の基礎や小学校教育への基礎を身につける。										
事業の概要	幼児期にふさわしい生活を展開する中で、生涯にわたる人格形成の基礎、生きる力の基礎を培う。3歳児から5歳児までの3年間、意図的環境、計画的な指導援助による幼児教育。担任、副担任、支援員配置によるきめ細かな援助、個々の発達に即した保育教育、英語活動、食育教室、家読の推進、収穫祭など特色ある保育活動の実施。										
事業の効果	幼稚園で幼児が主体的遊び、体験を重ねることで、生きる力の基礎や小学校教育の基礎が身に付く。複数担任制で保育を行うことで、幼児一人一人の心身の発達をより助長することができる。幼児期から楽しく英語に親しむことで小学校からの英語学習に意欲をもって取り組むことができる。										
次年度以降の見込み	次年度以降も継続して行う。										

令和7年度「児童健全育成事業」の概要

所管課名	教育総務課・教育施設課		所管係名	総務係・こども教育係・施設管理係		※構成比の不一致は端数整理によるものです。				
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり			前 年 度	当初予算額	4,706 千円		
	政 策 名	1	安心して子どもを産み育てられるまち				補正額（12月補正まで）	2,041 千円		
	施 策 名	1	子育て支援の推進				最終予算額	6,747 千円		
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源			
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他				
	金 額	4,509 千円		1,126 千円	438 千円	0 千円	0 千円	2,945 千円		
	構成比	100.0 %		25.0 %	9.7 %	0.0 %	0.0 %	65.3 %		
	特定財源の名称		子どものための教育・保育給付費	子どものための教育・保育給付費				-		
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細			
		3	民生費	8	旅費	8 千円	子育て支援サービス第三者委員費用弁償			
				10	需用費	300 千円	遊具撤去・修繕【教育施設課分】			
		2	児童福祉費	12	委託料	1,366 千円	屋外遊具定期（劣化）点検業務【教育施設課分】			
				18	負担金補助金及び交付金	2,790 千円	病後児保育負担金、私立保育園等負担金			
目			19	扶助費	45 千円	一時預かり利用料助成				
					千円					
				千円						
	3	児童健全育成費			千円					
事業の目的	子育て支援事業の展開や子育て環境の整備により、子育て中の家庭を支援するもの。									
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・病児・病後児保育負担金、緊急サポート事業利用時の助成 ・私立保育園等負担金 ・屋外遊具撤去、修繕【教育施設課】 ・屋外遊具定期（劣化）調査【教育施設課】 									
事業の効果	子育て環境を支援することで、子どもたちの健やかな成長の一助となる。									
次年度以降の見込み	子育てを取り巻く環境の変化に応じて、適切な事業を行い、子育てを支援していく。									

令和7年度「子どもクラブ事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	教育施設課		所管係名	施設管理係			
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり		前 年 度	当初予算額	51,766 千円
	政 策 名	1	安心して子どもを産み育てられるまち			補正額（12月補正まで）	100 千円
	施 策 名	1	子育て支援の推進			最終予算額	51,866 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	49,702 千円	8,653 千円	8,653 千円	2,100 千円	6,104 千円	24,192 千円
	構成比	100.0 %	17.4 %	17.4 %	4.2 %	12.3 %	48.7 %
	特定財源の名称		地域の子ども・子育て支援事業交付金	地域の子ども・子育て支援事業交付金	LED化事業債(900) 適正維持管理事業債(1,200)	保護者負担金(6,048) スポーツ保険負担金(56)	-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
		3	民生費	1	報酬	29,790 千円	会計年度任用職員報酬
				3	職員手当等	11,077 千円	会計年度任用職員期末・勤勉手当
		項	項名称	4	共済費	2,527 千円	会計年度任用職員共済費
				8	旅費	863 千円	会計年度任用職員通勤手当、職員研修
2		児童福祉費	10	需用費	2,228 千円	子どもクラブ事業消耗品、光熱水費、修繕料等	
			11	役務費	256 千円	電話料、スポーツ保険掛金等	
目		目名称	12	委託料	1,609 千円	保護者連絡網、登降園システム、施設LED改修設計、施設警備等	
			13	使用料及び賃借料	118 千円	清掃用具、AED借上	
	14		工事請負費	1,234 千円	トイレ改修工事		
事業の目的	保護者の就労等により日中家庭での保育が困難な児童を対象に、放課後の時間帯において、適切な遊びや生活の場を提供し、健全な育成を図る。						
事業の概要	国見小学校の児童（1年生から6年生）の放課後児童クラブ利用希望者に対して、平日の放課後、土曜日・夏休み等長期休業中は1日、支援員及び支援補助員が様々な遊びや生活の場を提供する。						
事業の効果	就労等により保育が困難な保護者の支援のほか、子どもたちには異学年の交流、毎日の学習や生活習慣の定着など、放課後の生活が充実したものとなる。						
次年度以降の見込み	次年度以降も継続して行う。充実した事業となるよう、さまざまな工夫をしながら環境の変化に合わせた支援を進めていく。						

令和7年度「預かり保育運営事業（くにみ幼稚園）」の概要

所管課名	教育総務課・教育施設課		所管係名	総務係・こども教育係・施設管理係		※構成比の不一致は端数整理によるものです。							
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり			前年度	当初予算額	27,602 千円					
	政 策 名	1	安心して子どもを産み育てられるまち				補正額（12月補正まで）	115 千円					
	施 策 名	1	子育て支援の推進				最終予算額	27,717 千円					
予 算 額			総事業費		特 定 財 源				一般財源				
	金 額		20,995 千円		国庫支出金	5,395 千円	県支出金	3,474 千円	地方債	0 千円	その他	40 千円	12,086 千円
	構 成 比		100.0 %		25.7 %	16.5 %	0.0 %	0.2 %	57.6 %				
	特定財源の名称			地域の子ども・子育て支援事業交付金（1553）、子育てのための施設等利用給付金（3842）		地域の子ども・子育て支援事業交付金（1553）、子育てのための施設等利用給付金（1921）		幼稚園保育料		-			
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細						
		3	民生費	1	報酬	8,217 千円	会計年度任用職員報酬（パート）						
				2	給料	5,343 千円	会計年度任用職員給料（フル）						
		2	児童福祉費	3	職員手当等	5,434 千円	会計年度任用職員通勤手当、超過勤務手当、期末手当、勤勉手当（フル・パート）						
				4	共済費	1,278 千円	会計年度任用職員共済費（フル・パート）						
		目	目名称	8	旅費	238 千円	会計年度任用職員通勤手当（パート）						
10				需用費	407 千円	預かり保育事業消耗品、燃料費、医薬材料費、施設修繕【100千円 教育施設課分】							
3		児童健全育成費	11	役務費	46 千円	電話料【教育施設課分】							
	13		使用料及び賃借料	32 千円	自動車借上、清掃用具借上								
事業の目的	くにみ幼稚園児の保護者が就労等により、家庭で保育できない園児を対象に幼稚園の降園後、遊びや生活の場を提供し、健全な育成を図る。												
事業の概要	くにみ幼稚園と同じ建物の預かり保育室において、平日の午後、土曜日・夏休み等長期休業中は終日、利用希望する子どもの保育を行う。												
事業の効果	就労等により保育が困難な保護者の支援、園児の健やかな成長の一助となる。												
次年度以降の見込み	次年度以降も継続して行う。												

令和7年度「くにみももたん広場運営事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	教育施設課		所管係名	施設管理係			
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり		前 年 度	当初予算額	16,964 千円
	政 策 名	1	安心して子どもを産み育てられるまち			補正額（12月補正まで）	-450 千円
	施 策 名	1	子育て支援の推進			最終予算額	16,514 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	17,911 千円	0 千円	10,753 千円	0 千円	6,700 千円	458 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	60.0 %	0.0 %	37.4 %	2.6 %
	特定財源の名称		被災した子どもの健康・生活対策総合支援事業補助金		保加工施設電気代精算金1,200千円 ふるさと振興基金繰入金5,500千円		-
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
	3	民生費	1	報酬	8,545 千円	会計年度任用職員報酬	
			3	職員手当等	3,260 千円	会計年度任用職員期末・勤勉手当	
	2	児童福祉費	4	共済費	528 千円	会計年度任用職員共済費	
			7	報償費	30 千円	子育てイベント記念品	
	3	児童健全育成費	8	旅費	117 千円	会計年度任用職員通勤手当、職員研修	
			10	需用費	4,553 千円	屋内遊び場事業消耗品、光熱水費、施設・遊具修繕等	
	3	児童健全育成費	11	役務費	76 千円	電話料、建物災害共済	
12			委託料	802 千円	遊具等定期点検、消防設備点検、施設警備、施設清掃		
事業の目的	震災や原発事故により、屋外で安心して遊べない状況を解消することを目的に屋内に大型遊具等を設置し、子どもたちの遊びや運動の機会を提供する。						
事業の概要	体育館内に大型遊具のほか子どものおもちゃを用意し、未就学児及び小学生の子どもと保護者が自由に遊べる場を無料で提供。						
事業の効果	屋内であり、天候に左右されず利用することができるため、土日等休日を中心に多くの親子連れが利用し、子どもたちに遊びや運動の場を十分に提供できている。						
次年度以降の見込み	運営を継続する方向であるが、運営費用の3分の2が県補助であるため、今後の補助の動向を注視しながら、他の子育て支援施設と合わせ、遊びの場の提供を検討していく。						



令和7年度「社会教育事業」の概要

所管課名	生涯学習課		所管係名	生涯学習係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。		
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来へつなげるまちづくり		前年度	当初予算額	11,593 千円
	政 策 名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち			補正額（12月補正まで）	0 千円
	施 策 名	1	生涯学習の推進			最終予算額	11,593 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	14,330 千円	千円	1,000 千円	千円	412 千円	12,918 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	7.0 %	0.0 %	2.9 %	90.1 %
	特定財源の名称				子どもがふみだすふくしま復興体験応援事業1,000千円	利子および配当金412千円	-
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
	10	教育費	1	報酬	4,346 千円	社会教育委員(168千円)、会計年度任用職員(社会教育指導員(4,178千円))	
			2	給料	2,296 千円	会計年度任用職員(2,296千円)	
	5	社会教育費	3	職員手当等	2,506 千円	会計年度任用職員(2,506千円)	
			4	共済費	231 千円	会計年度任用職員(231千円)	
	1	社会教育総務費	7	報償費	577 千円	講師等謝礼(399千円)、はたちの成人のつどい記念写真(178千円)	
			8	旅費	343 千円	普通旅費(263千円)、会計年度任用職員通勤手当(社会教育指導員(80千円))	
	10		需用費	696 千円	消耗品費(325千円)、はたちの成人のつどい式典費(86千円)、給食費(175千円)、印刷製本費(110千円)		
	11		役務費	279 千円	はたちの成人のつどいクリーニング(90千円)、公民館総合補償(189千円)		
	12		委託料	1,777 千円	各事業バス送迎(1,510千円)、はたちの成人のつどい記念品作成(260千円)、駐車場案内(7千円)		
18	負担金補助及び交付金		866 千円	伊達地社連負担金他(12千円)、青少年育成町民会議補助金他(854千円)			
24	積立金	413 千円	文教施設整備基金利子(413千円)				
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育の振興のために社会教育法に基づく社会教育委員及び社会教育指導員を設置し、社会教育事業を推進する。 ・次世代を担う二十歳の者を祝福するとともに社会の一員としての自覚を促す式典を開催する。 						
事業の概要	社会教育委員・社会教育指導員に要する経費、社会教育事業に関する経費、はたちの成人のつどいに関する経費、青少年育成町民会議等への補助						
事業の効果	社会教育事業の推進が図られる。						
次年度以降の見込み	継続的な取り組みが必要。						

令和7年度「地域学校協働本部事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	生涯学習課		所管係名	生涯学習係			
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来へつなげるまちづくり		前 年 度	当初予算額	37,518 千円
	政 策 名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち			補正額(12月補正まで)	0 千円
	施 策 名	1	生涯学習の推進			最終予算額	37,518 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	38,566 千円	千円	10,641 千円	千円	18,900 千円	9,025 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	27.6 %	0.0 %	49.0 %	23.4 %
	特定財源の名称				地域学校協働活動支援事業 10,641千円	ふるさと振興基金繰入金3,300千円 特別交付税措置 15,600千円	-
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
	10	教育費	7	報償費	7,000 千円	協働本部・学校支援・放課後支援・学習支援・家庭教育支援コーディネーター及び支援員(7,000千円)	
			8	旅費	1,111 千円	各コーディネーター費用弁償他(992千円)、コーディネーター研修普通旅費(119千円)	
	5	社会教育費	10	需用費	966 千円	各事業消耗品費(856千円)、印刷製本費(110千円)	
			11	役務費	106 千円	協働本部スマートフォン利用料(106千円)	
	2	地域学校協働本部費	12	委託料	28,726 千円	各事業バス送迎(1,100千円)、公営塾運営(12,026千円)、地域おこし協力隊活動サポート委託(15,600)	
			13	使用料及び賃借料	657 千円	放課後体験活動引率者入場料(23千円)、公営塾放課後塾教室使用料(634千円)	
					千円		
					千円		
					千円		
事業の目的	学校と地域が相互に協力関係を深め、地域総ぐるみの教育を実現を目指すことにより、地域に根差した人間性豊かな子どもの育成を図るとともに地域学校協働活動を通して地域の活性化を図るもの。						
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援コーディネーターによる地域ボランティアを活かした総合学習の時間を中心とした学校支援 ・学習支援コーディネーターによる学習支援ボランティアによる夏冬休み・受験期の学習支援 ・放課後支援コーディネーターによる放課後体験活動支援 ・家庭教育支援コーディネーターによる子育て世代への家庭教育支援 ・公営塾による学習支援及び地域活動支援 						
事業の効果	学校を中心とした地域人材の活用及びつながりの強化が図られる。						
次年度以降の見込み	継続的な取り組みが必要。						



令和7年度「観月台文化センター事業」の概要

創生・過疎

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	生涯学習課		所管係名	文化スポーツ係				
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり			前 年 度	当初予算額	155,548 千円
	政 策 名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち				補正額（12月補正まで）	13,944 千円
	施 策 名	2	芸術文化の振興				最終予算額	169,492 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	99,035 千円	千円	千円	47,300 千円	3,800 千円	47,935 千円	
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	47.8 %	3.8 %	48.4 %	
	特定財源の名称				集会所施設債47,300千円	施設使用料1,000千円、印刷等実費収入100千円、文教施設整備基金繰入金2,700千円	-	
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細		
	10	教育費	1	報酬	77 千円	文化センター管理運営委員(77千円)		
			2	給料	2,458 千円	会計年度任用職員給料(2,458千円)		
			3	職員手当等	977 千円	会計年度任用職員期末手当等(977千円)		
	項	項名称	4	共済費	748 千円	会計年度任用職員共済組合(748千円)		
	5	社会体育費	8	旅費	23 千円	文化センター管理運営委員費用弁償(23千円)		
			10	需用費	20,889 千円	消耗品費(2,423千円)、燃料費(6,504千円)、光熱水費(10,962千円)、修繕料(1,000千円)		
			11	役務費	2,118 千円	通信運搬費(928千円)、手数料(698千円)、火災保険料(427千円)、損害保険料(65千円)		
	目	目名称	12	委託料	21,800 千円	保守・点検・管理等(10,551千円)、シルバー委託(9,992千円)、公共施設予約システム保守(1,257千円)		
	3	文化センター費	13	使用料及び賃借料	886 千円	テレビ受信料等(61千円)、A E D・清掃用具・コピー機等借上料(825千円)		
14			工事請負費	48,300 千円	音響設備改修他(48,300千円)			
17			備品購入費	759 千円	芝・草刈機等(759千円)			
事業の目的	観月台文化センターの運営及び施設管理を行い、安定した社会教育学習の場の提供を行うもの							
事業の概要	観月台文化センター（図書館を除く）の運営及び維持管理							
事業の効果	観月台文化センターの運営及び施設の管理・改修等を行うことで、施設利用者の利便性の向上と安全な利用が見込める							
次年度以降の見込み	観月台文化センターの運営、老朽化した設備や施設の管理・改修等を継続して行う							

令和7年度「図書館事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	生涯学習課		所管係名	生涯学習係			
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来へつなげるまちづくり		前 年 度	当初予算額	17,545 千円
	政 策 名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち			補正額（12月補正まで）	0 千円
	施 策 名	1	生涯学習の推進			最終予算額	17,545 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	10,595 千円	千円	千円	千円	0 千円	10,595 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
	特定財源の名称						-
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
	10	教育費	1	報酬	109 千円	図書館協議会委員(109千円)	
			2	給料	2,720 千円	会計年度任用職員(2,720千円)	
			3	職員手当等	1,225 千円	会計年度任用職員(1,100千円)、会計年度任用職員通勤手当(125千円)	
	項	項名称	4	共済費	877 千円	会計年度任用職員(877千円)	
			7	報償費	1,281 千円	図書館5周年記念事業講師謝礼・子ども移動図書館指導員他(1,155千円)、子ども司書活動記念品(126千円)	
	5	社会教育費	8	旅費	180 千円	図書館5周年記念事業講師等(122千円)、普通旅費(58千円)	
			10	需用費	1,009 千円	消耗品費(929千円)、給食費(30千円)、印刷製本費(50千円)	
			11	役務費	131 千円	相互貸借郵送料(131千円)	
	目	目名称	12	委託料	1,558 千円	図書館5周年記念事業音響照明業務(70千円)、図書館5周年記念事業駐車場案内(6千円)、バス送迎(55千円)、図書管理システム保守 (1,427千円)	
			13	使用料及び賃借料	264 千円	図書館流通センターシステム利用料(264千円)	
			17	備品購入費	1,200 千円	図書購入費(1,200千円)	
			18	負担金補助及び交付金	41 千円	日本図書館協議会(37千円)、福島県公共図書館協会(4千円)	
4			図書館費				
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館法並びに図書館運営方針及び資料収集方針に基づき、読書を通じて心の豊かさを育む「読書の町・国見」の推進を図るもの。 ・子ども読書活動推進計画に基づき、読書に親しみ、楽しみ、調べ、考える成長段階に応じた活動・環境づくりを目指すもの。 					 	
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・一般書や郷土資料といった幅広い図書の収集、除籍、貸出等の図書館の適正な運営 ・図書館協議会、子ども読書活動推進会議、子ども移動図書館・司書活動・講座等の開催 ・図書館開館5周年記念事業の開催 ・図書管理システム運用 					 	
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・読書活動の推進により利用者の豊かな心を育む。 ・図書資料の収集による地域の情報拠点としての機能の向上。 						
次年度以降の見込み	継続的な取り組みが必要。						

令和7年度「芸術文化振興事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	生涯学習課		所管係名	文化スポーツ係				
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり			前 年 度	当初予算額	13,661 千円
	政 策 名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち				補正額(12月補正まで)	5,500 千円
	施 策 名	2	芸術文化の振興				最終予算額	19,161 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	11,924 千円		千円	千円	千円	3,375 千円	8,549 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	0.0 %	28.3 %	71.7 %
	特定財源の名称						公共ホール音楽活性化支援事業500千円、入場料収入2,875千円	-
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細		
	10	教育費	7	報償費	280 千円	講師謝礼(236千円)、大会賞品(44千円)		
			8	旅費	131 千円	費用弁償(84千円)、普通旅費(47千円)		
	項	項名称	10	需用費	925 千円	消耗品費(100千円)、給食費等(165千円)、印刷製本費(660千円)		
	5	社会教育費	11	役務費	146 千円	ピアノ調律146千円)		
			12	委託料	8,677 千円	芸術鑑賞(5,000千円)、音響等操作(990千円)、機器保守(2,687千円)		
	目	目名称	13	使用料及び賃借料	55 千円	著作権使用料(55千円)		
5	芸術文化振興費	18	負担金補助及び交付金	1,710 千円	公文教負担金(30千円)、公演開催地負担金(880千円)、町文連等補助金(800千円)			
					千円			
事業の目的	優れた文化芸術に触れる機会の拡充と文化芸術活動の推奨を図り、文化意識の高揚に務める							
事業の概要	文化芸術振興アクションプランに基づく①文化芸術への場の提供、②鑑賞機会の提供、③文化芸術の普及・啓発を行うもの							
事業の効果	町の文化芸術振興の拠点として、町民の活動発表の場及び高い舞台芸術鑑賞の場の提供となる							
次年度以降の見込み	年間を通してホールを中心とした文化芸術振興事業の展開を継続する 適正なメンテナンスと経年劣化した設備・機器の計画的更新を行い、適正な管理を継続する							



令和7年度「保健体育事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	生涯学習課		所管係名	文化スポーツ係				
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり		前 年 度	当初予算額	5,568 千円	
	政 策 名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち			補正額（12月補正まで）	1,320 千円	
	施 策 名	3	スポーツの推進			最終予算額	6,888 千円	
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	10,227 千円	千円	千円	千円	1,912 千円	8,315 千円	
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	18.7 %	81.3 %	
	特定財源の名称						施設利用料44千円、事業収入140千円、スポーツ振興くじ助成金1,728千円	-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		10	教育費	1	報酬	390 千円	スポーツ推進委員(390千円)	
7				報償費	1,005 千円	委員報償(25千円)、講師謝礼等(74千円)、激励金(280千円)、大会賞品(626千円)		
6		保健体育費	8	旅費	158 千円	費用弁償(94千円)、普通旅費(64千円)		
			10	需用費	266 千円	スポーツ教室・各種大会消耗品等(266千円)		
1		保健体育総務費	11	役務費	15 千円	クリーニング(15千円)		
			12	委託料	682 千円	大会交通整理等(132千円)、スポーツ教室等バス送迎(150千円)、教室等委託(400千円)		
1		保健体育総務費	13	使用料及び賃借料	349 千円	スポーツ教室・大会入場料(169千円)、スポーツ教室機材借上料(180千円)		
	18		負担金補助及び交付金	7,362 千円	大会・協会等負担金(217千円)、体協等補助金(925千円)、市町村対抗補助金(1,100千円)、スポクラ補助金(5,120千円)			
事業の目的	幼年期から高齢期までの誰もが主体的な健康づくりやスポーツの習慣化を促進することで、幸福感と健康増進を図る							
事業の概要	スポーツ推進委員活動、スポーツ教室・大会の開催、社会体育団体の育成補助・大会参加補助、総合型地域スポーツクラブの運営							
事業の効果	スポーツの自主的な活動を促す 国見町総合型地域スポーツクラブの運営により多世代に多様な健康づくりの機会を創出することで町民の健康の維持増進に貢献する							
次年度以降の見込み	多方面（文化団体、学校、福祉）との連携も図りながら継続的に取り組む							

令和7年度「体育施設事業」の概要

創生・過疎

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	生涯学習課		所管係名	文化スポーツ係				
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり			前 年 度	当初予算額	114,526 千円
	政 策 名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち				補正額(12月補正まで)	3,430 千円
	施 策 名	3	スポーツの推進				最終予算額	117,956 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	29,170 千円	千円	千円	400 千円	7,100 千円	21,670 千円	
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	1.4 %	24.3 %	74.3 %	
	特定財源の名称				脱炭素債400千円	体育施設使用料5,000千円、文教施設整備基金繰入金2,100千円	-	
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細		
	10	教育費	10	需用費	12,138 千円	消耗品費(617千円)、燃料費(65千円)、光熱水費(10,356千円)、修繕料(1,100千円)		
			11	役務費	895 千円	通信運搬費(224千円)、法定検査等手数料(276千円)、災害・自動車共済(395千円)		
	項	項名称	12	委託料	14,796 千円	保守・点検・管理等(10,746千円)、シルバー委託(2,792千円)、公共施設予約システム保守(1,258千円)		
	6	保健体育費	13	使用料及び賃借料	241 千円	テレビ受信料(15千円)、A E D・清掃用具借上料(224千円)、共架電柱使用料(2千円)		
			14	工事請負費	1,100 千円	施設修繕(1,100千円)		
	目	目名称			千円			
2	体育施設費			千円				
事業の目的	体育施設の充実と効果的運営を図ることで、町民の心身の健全な発達及び豊かな人間性の醸成に寄与する					 		
事業の概要	①上野台運動公園（上野台体育館、テニスコート、総合運動場、グリーンアリーナ923、柏葉体育館）、森江野町民センター森江野第2体育館の維持管理を行うもの ②上野台運動公園の設備更新							
事業の効果	上記施設の有効活用と利便性の向上を図ることができる							
次年度以降の見込み	各施設の利用状況の把握と適正なメンテナンスと経年劣化した設備・機器の計画的更新を行い、適正な管理を継続する							